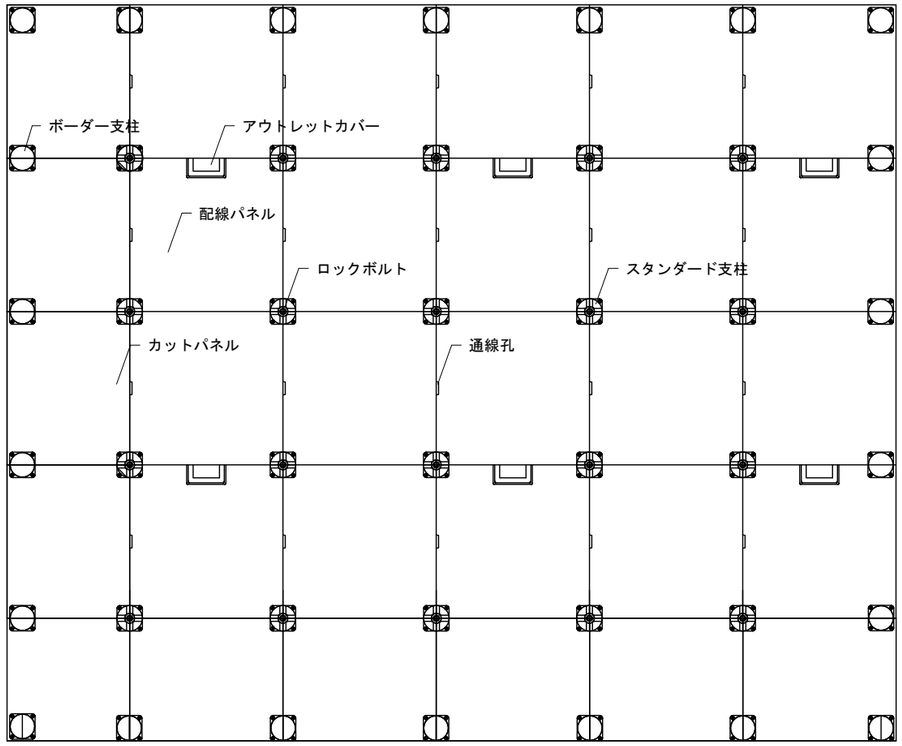
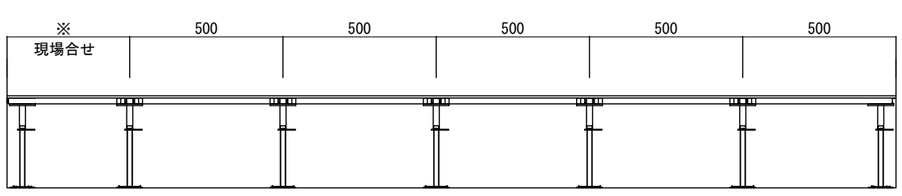
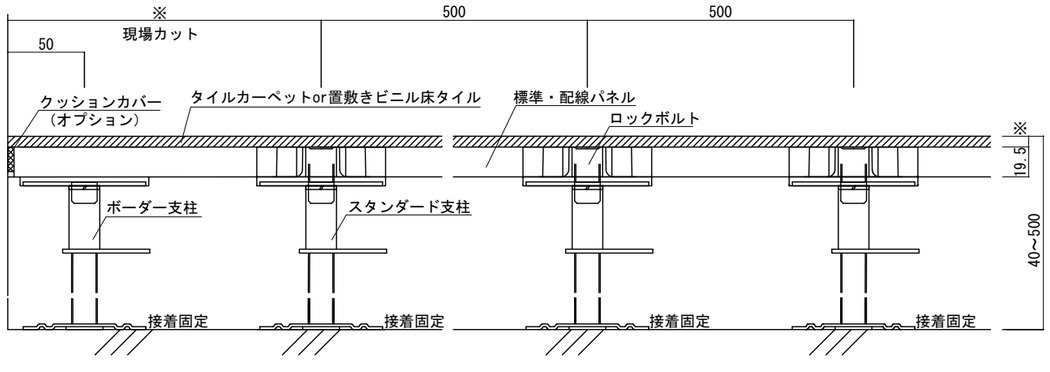
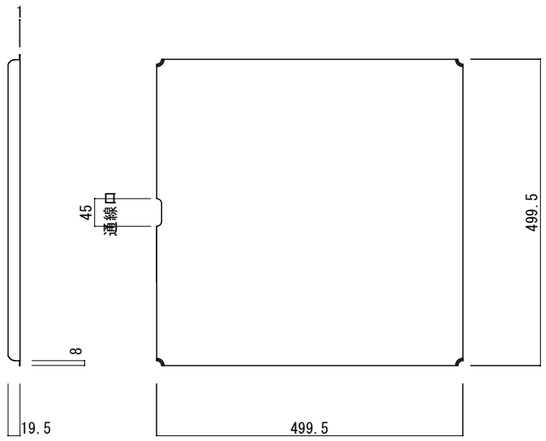
基準納まり図S=1/20



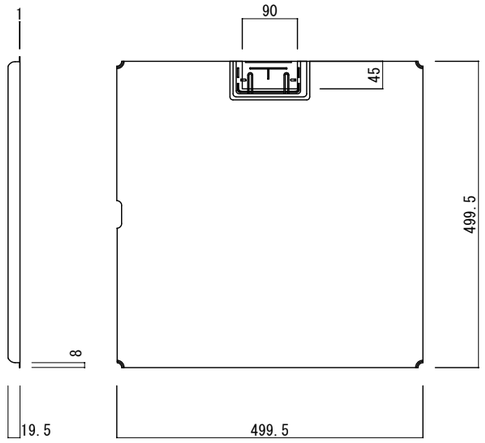




標準パネル(NC)

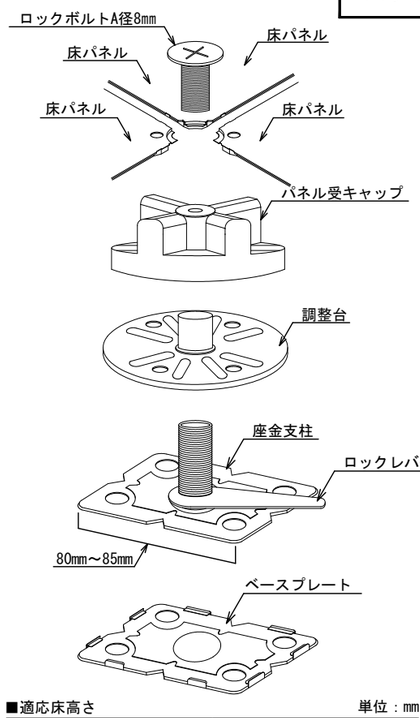


配線パネル(1C)



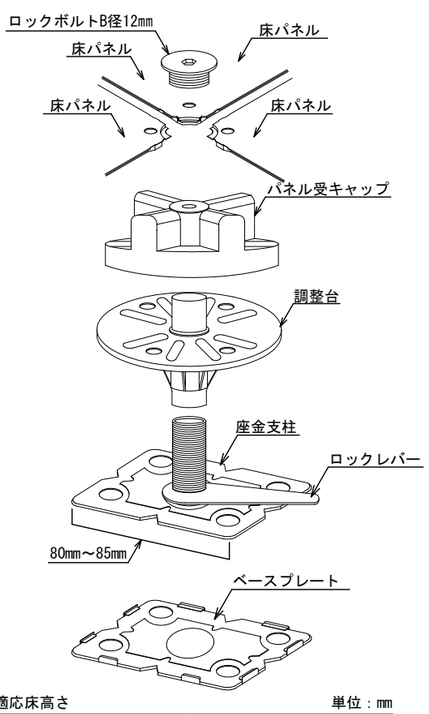
パネル形式	耐荷重性能	パネル材質	床面高さ
BFW (NC・1C)	3000Nタイプ	Steel+PB	40mm ～ 500mm
	5000Nタイプ	Steel+MDF	

スタンダード支柱　納まり図



■適応床高さ　単位：mm

■適応床高さ(h)	配線空間 (h)
40mm	20mm

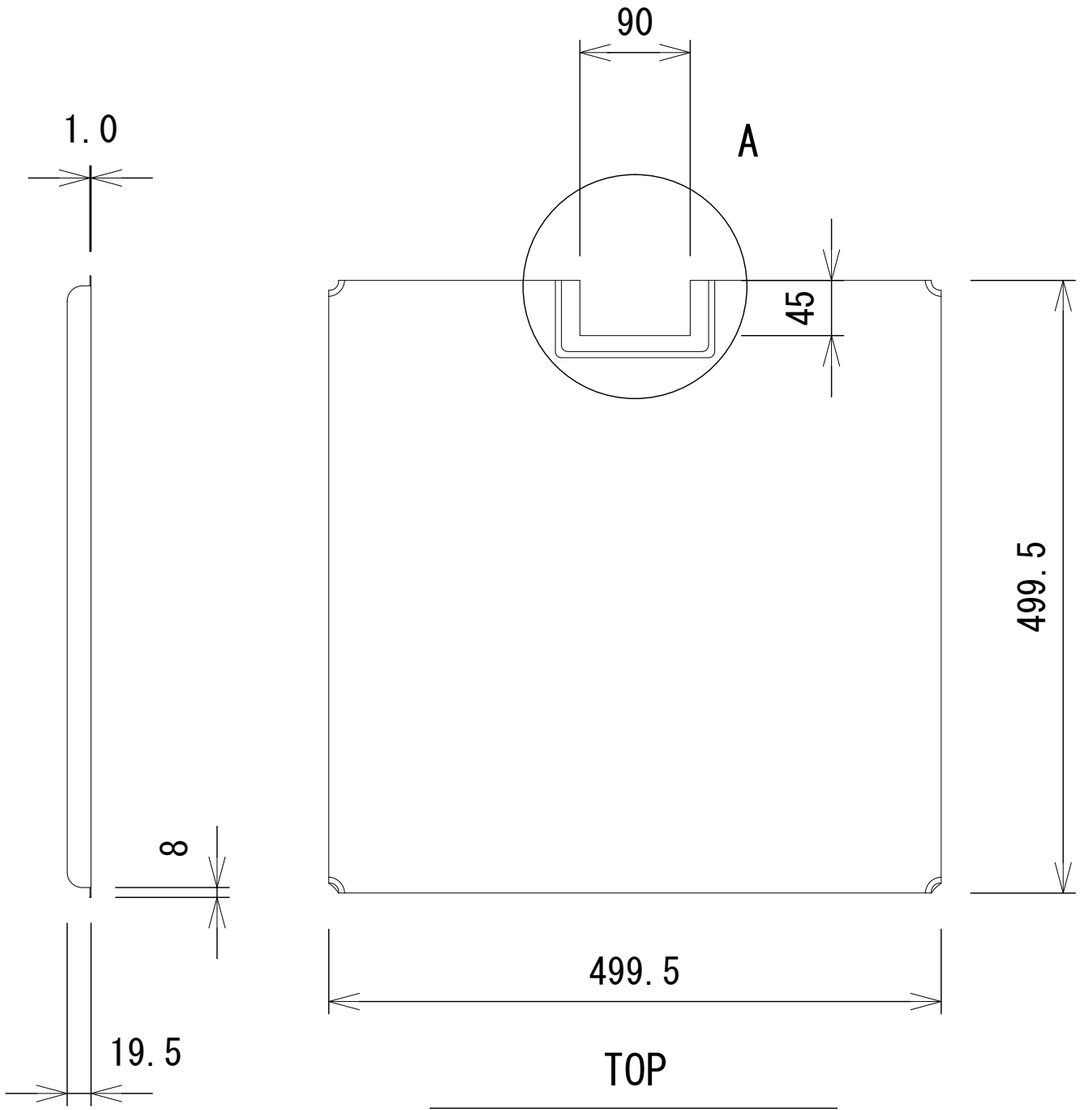


■適応床高さ　単位：mm

■適応床高さ(h)	配線空間 (h)
50～500	30～480

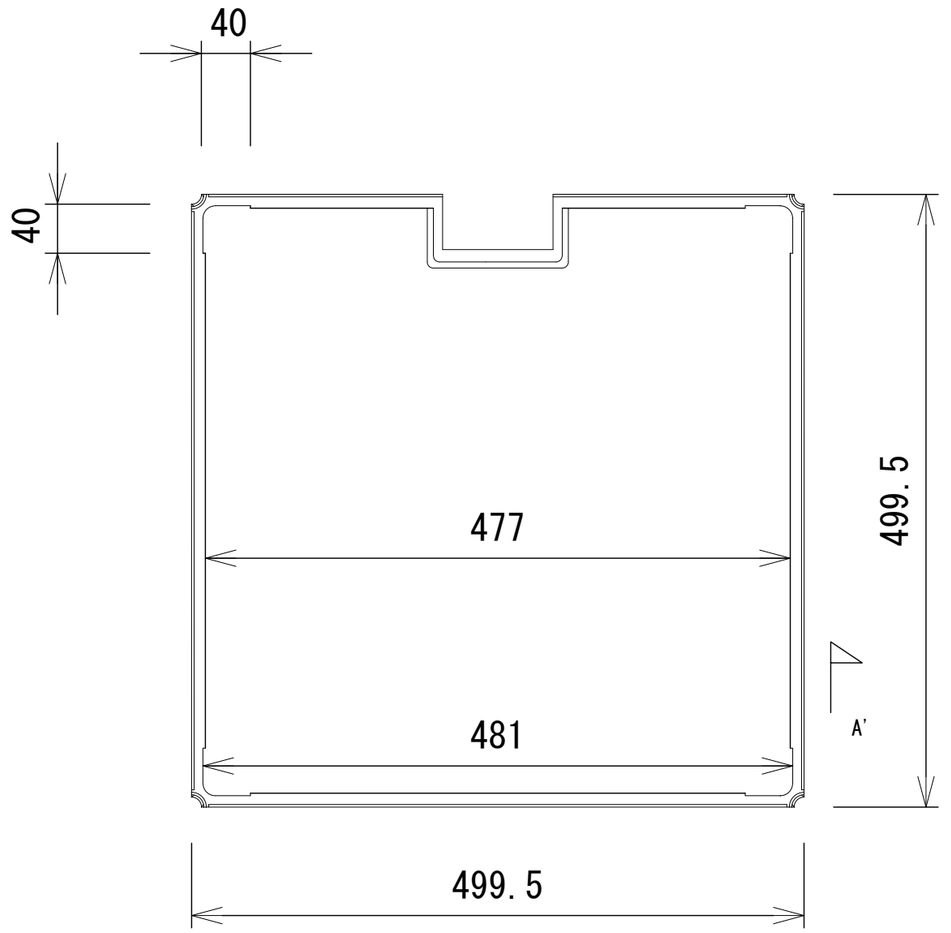
STEP LINE
ステップライン株式会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-10
青木ビル6階

	縮尺：	作成日：	仕様：本体パネル サイズ:499.5x449.5xH19.5mm		重量:約5kg/㎡
図面名称： パネル・断面納まり図	サイズ： A3	備考：	副資材：	オプション副資材：	仕上げ材： タイルカーペット(オプション) 置敷きビニル床タイル(オプション)



TOP

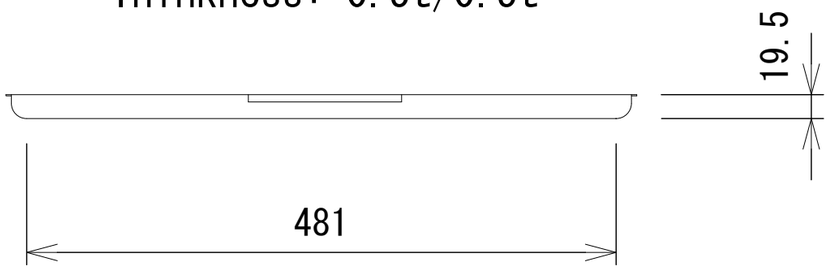
Thinkness: 0.5t/0.5t



BOTTOM

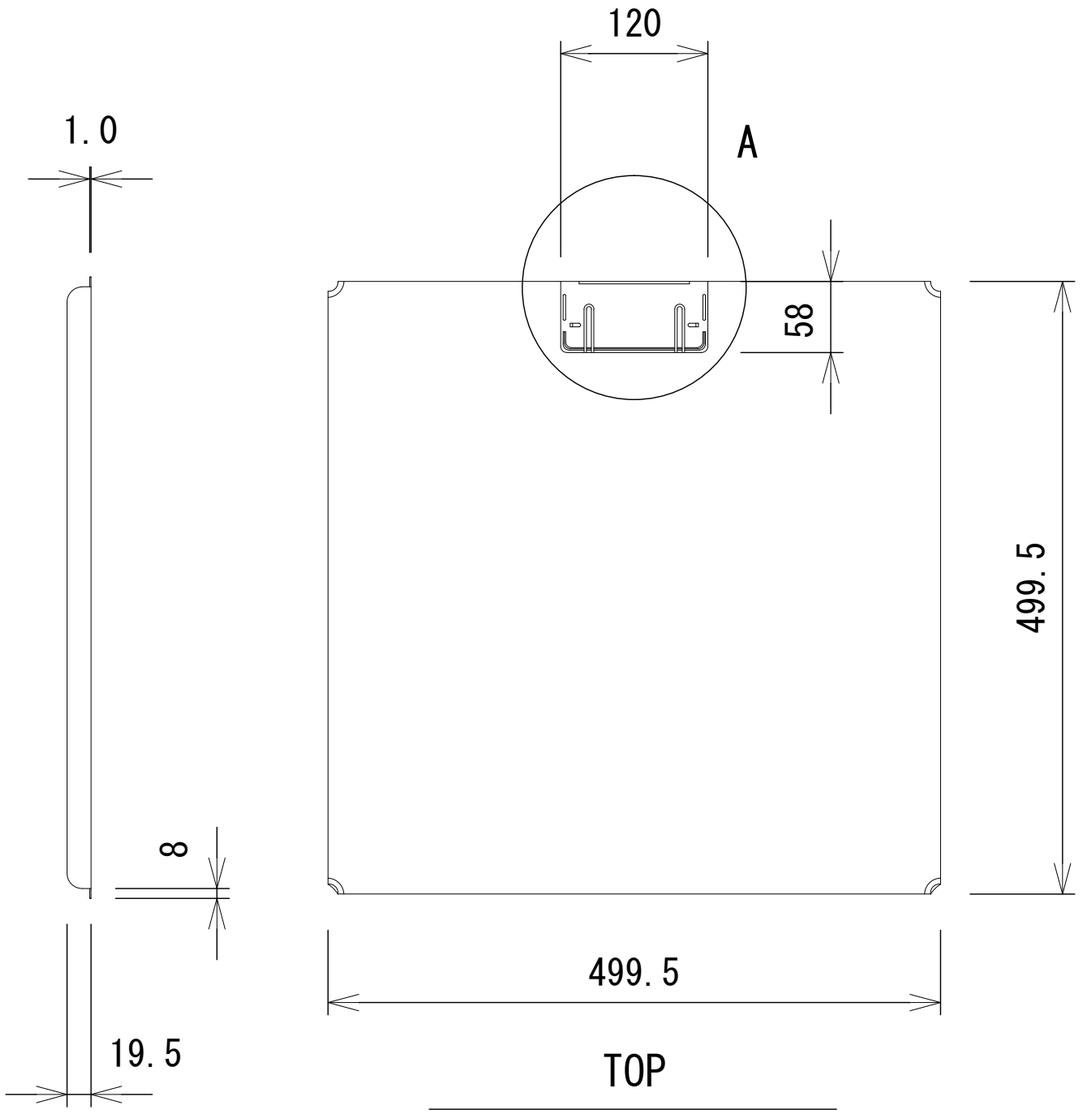
Thinkness: 0.5t/0.5t

SIDE



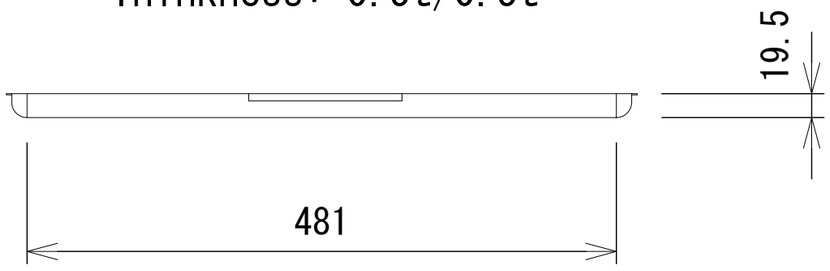
Section View A-A'

STEP LINE	ステップライン株式会社 東京都港区虎ノ門4-1-10 青木ビル6F TEL：03-5733-3927　FAX：03-5733-3928	BFW 3000N・5000N 1C	縮 尺 S=1/5	図面NO.	担 当	作成日 2023.07.22



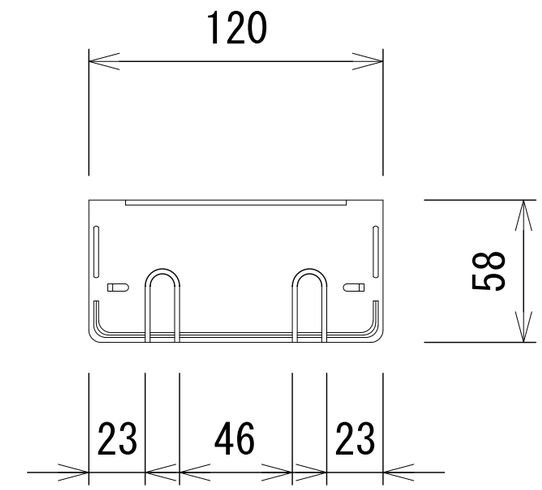
TOP

Thinkness: 0.5t/0.5t

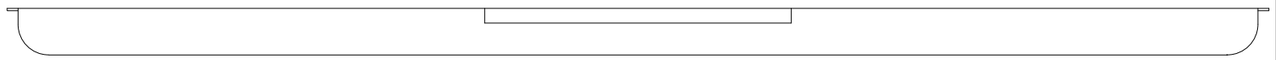


SIDE

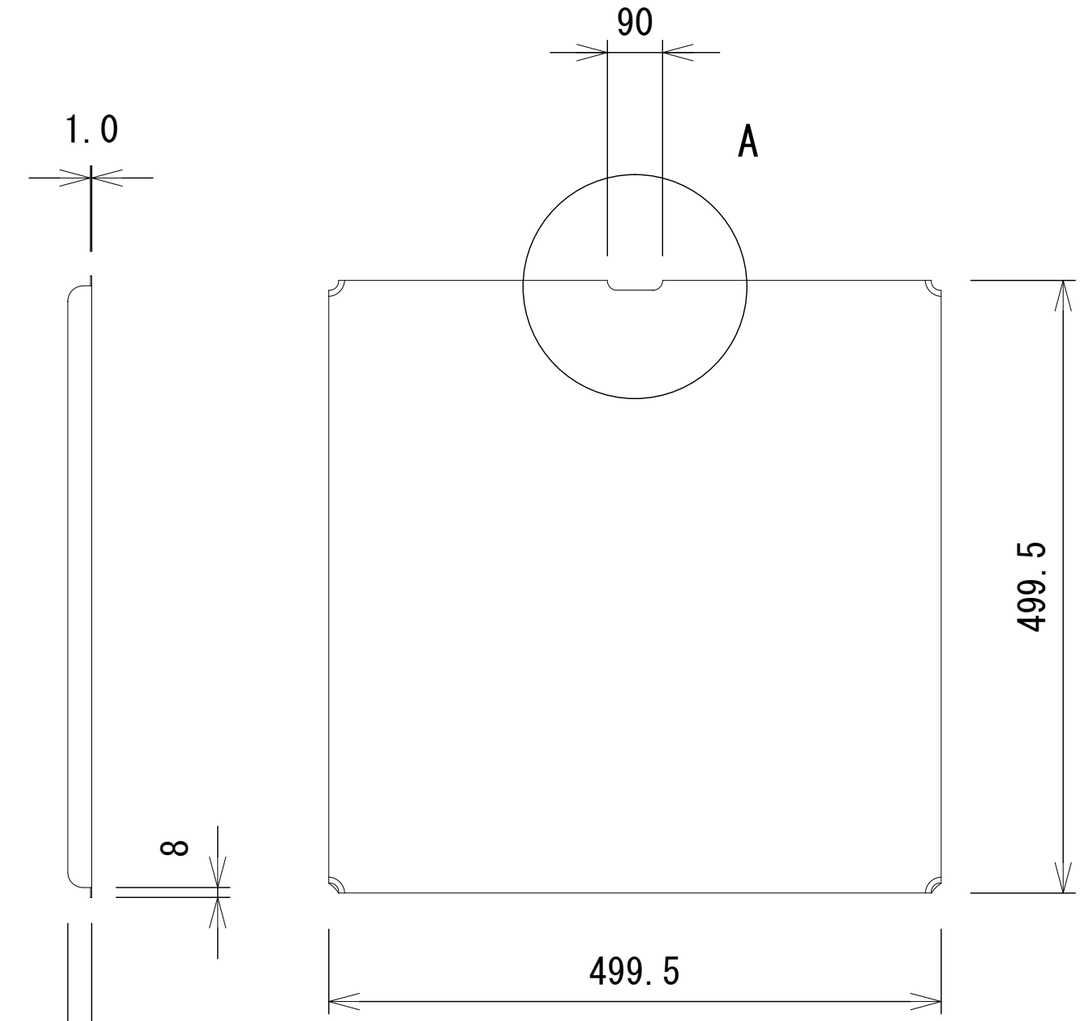
Section View A-A'



A 詳細図

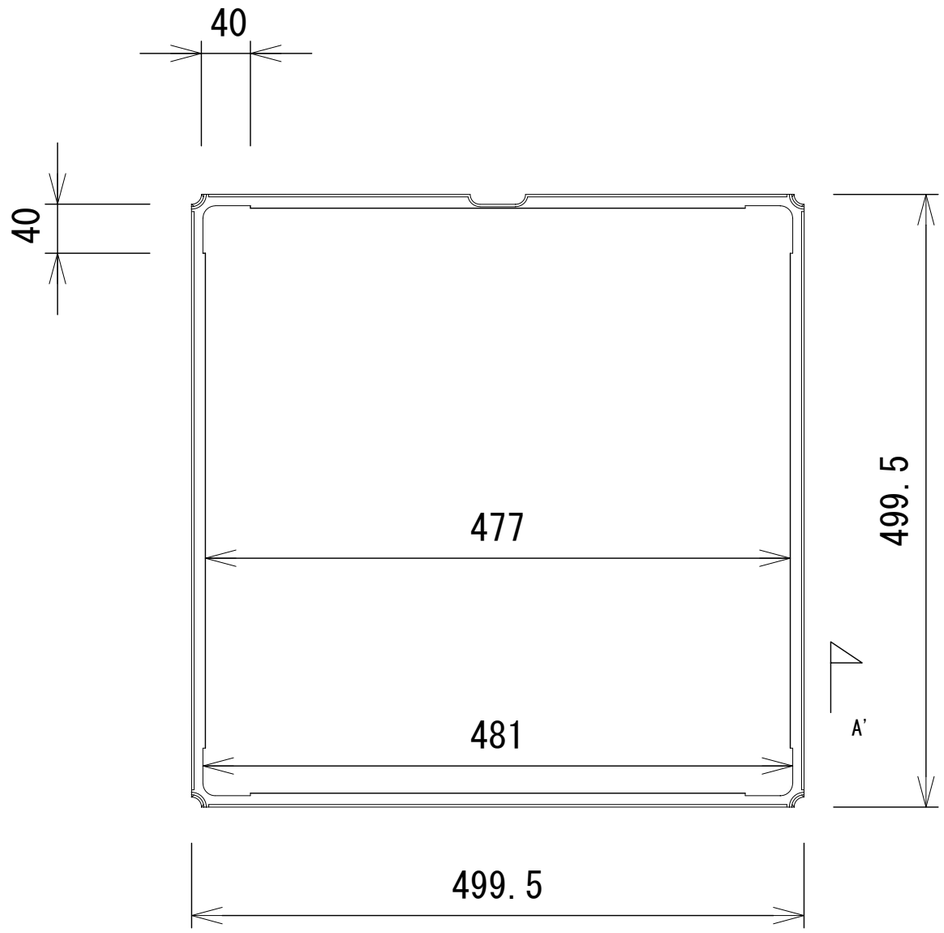


STEP LINE ステップライン株式会社 東京都港区虎ノ門4-1-10 青木ビル6F TEL：03-5733-3927　FAX：03-5733-3928	BFW HOLE CAP	縮 尺 S=1/5	図面NO.	担 当	作成日 2023.07.22	



TOP

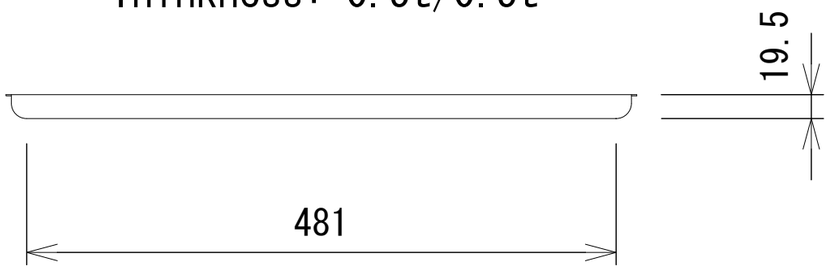
Thinkness: 0.5t/0.5t



BOTTOM

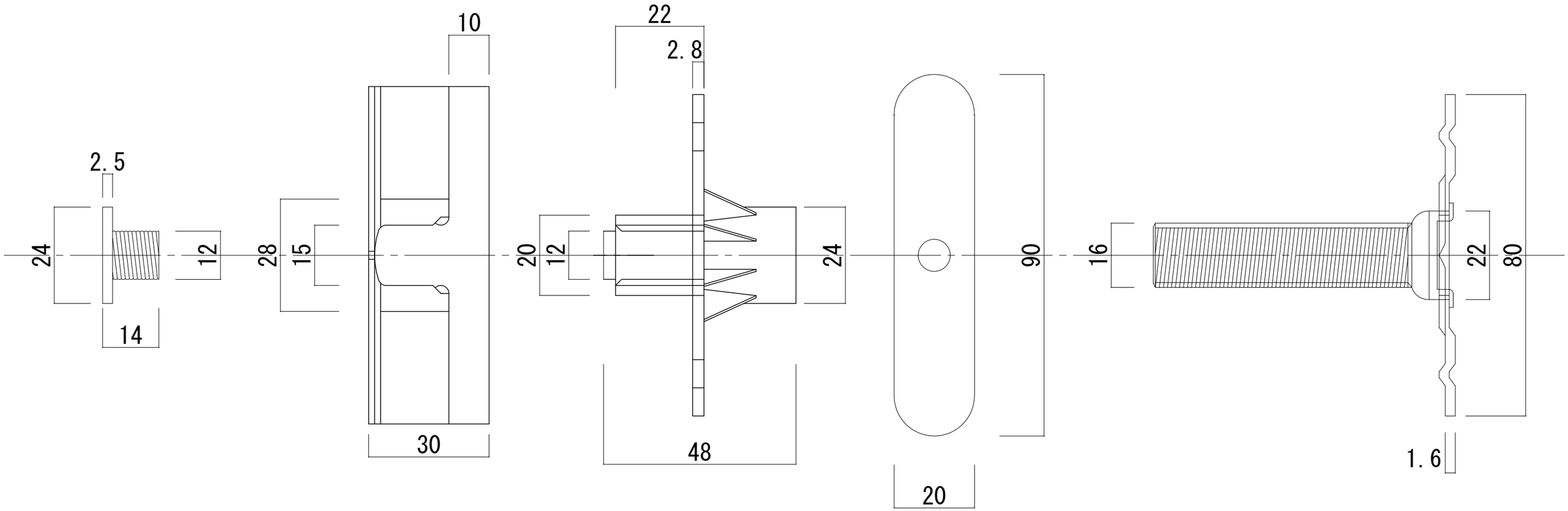
Thinkness: 0.5t/0.5t

SIDE



Section View A-A'

STEP LINE ステップライン株式会社 東京都港区虎ノ門4-1-10 青木ビル6F TEL：03-5733-3927　FAX：03-5733-3928	BFW 3000N・5000N NC	縮 尺 S=1/5	図面NO.	担 当	作成日 2023.07.22	



STEP LINE ステップライン株式会社 東京都港区虎ノ門4-1-10 青木ビル6F TEL：03-5733-3927　FAX：03-5733-3928	Pedastal	縮 尺 S=1/1	図面NO.	担 当	作成日 2023.07.22	

JAFA
認証品
★★★★★★★★
Certified Performance Evaluation

JAFA 認証書

申請のあった製品について、JAFA 性能評価認証制度に基づき審査した結果、
下記のとおり評価します。

会　社　名：	ステップライン株式会社
所　在　地：	東京都港区虎ノ門4丁目1-10　青木ビル6階
JAFA認証番号：	23-10-N030
認証製品名：	BFW5000
認証区分：	5000N－I
登　録　日：	2023 年 10 月 1 日
更　新　日：	2023 年 10 月 1 日
有効期限：	2026 年 9 月 30 日 までとする

フリーアクセスフロア工業会
会長　笠原 伸泰

No. 2308-01

ステップライン株式会社 御中

フリーアクセスフロアＢＦＷの
諸性能試験に関わる報告書

２０２３年 ８月 ７日

ものつくり大学技能工芸学部
建設学科　　高橋研究室

〒361-0038
埼玉県行田市前谷333
tel. & fax. 048(564)3867

No.2308-01
2023年 8月 7日

JIS A 1450(2021)試験報告書　　目 次

試験体数　4種

・試験体の名称　BFW3000 NC
　仕様　　支柱分離型フリーアクセスフロア　3000N用
　試験体の仕上り高さ　206.5mm

・試験体の名称　BFW3000 1C
　仕様　　支柱分離型フリーアクセスフロア　3000N用
　試験体の仕上り高さ　206.5mm

・試験体の名称　BFW5000 NC
　仕様　　支柱分離型フリーアクセスフロア　5000N用
　試験体の仕上り高さ　206.5mm

・試験体の名称　BFW5000 1C
　仕様　　支柱分離型フリーアクセスフロア　5000N用
　試験体の仕上り高さ　206.5mm

試験項目　3種

・静荷重試験(9ユニット)
・衝撃試験(1ユニット)
・燃焼試験(1ユニット)

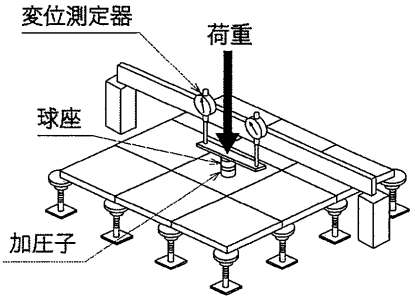
報 告

		ページ
1. BFW3000 NC		
1. 1. 静荷重試験(9ユニット)	ーーーーー	1
1. 2. 静荷重試験状況	ーーーーー	2
1. 3. 衝撃試験(1ユニット)	ーーーーー	3
1. 4. 衝撃試験状況	ーーーーー	4
2. BFW3000 1C		
2. 1. 静荷重試験(9ユニット)	ーーーーー	5
2. 2. 静荷重試験状況	ーーーーー	6
2. 3. 衝撃試験(1ユニット)	ーーーーー	7
2. 4. 衝撃試験状況	ーーーーー	8
3. BFW5000 NC		
3. 1. 静荷重試験(9ユニット)	ーーーーー	9
3. 2. 静荷重試験状況	ーーーーー	10
3. 3. 衝撃試験(1ユニット)	ーーーーー	11
3. 4. 衝撃試験状況	ーーーーー	12
3. 5. 燃焼試験(1ユニット)	ーーーーー	13
4. BFW5000 1C		
4. 1. 静荷重試験(9ユニット)	ーーーーー	14
4. 2. 静荷重試験状況	ーーーーー	15
4. 3. 衝撃試験(1ユニット)	ーーーーー	16
4. 4. 衝撃試験状況	ーーーーー	17
5. 試験体図	ーーーーー	18

No.2308-01
2023年 8月 7日

1．1．静荷重試験（9ユニット）報告書　　BFW3000 NC

JIS A 1450による静荷重試験の結果を報告する。



日 時　2023年 7月 3日

場 所　ものつくり大学

方 法　JIS A 1450による静荷重試験
1）試験体を静荷重試験機にセットして、200N載荷し1分後の変位を零点とする。
2）所定荷重を載荷したときの変形量を測定する。
3）荷重を200Nに戻して1分後の残留変形を測定する。
・載荷点はユニットの最弱部とする。
・載荷速度は2000N/分とする。
・載荷子はφ50mmの球座つきとする。

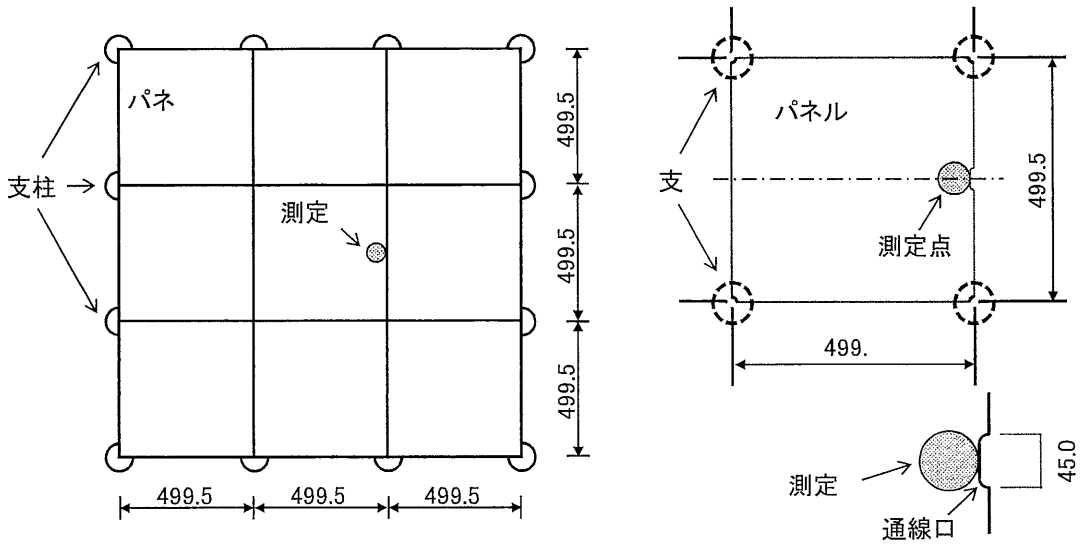
設 定
1)試験体の名称	BFW3000 NC
2)試験体の仕上がり高さ	206.5mm
3)試験体の設置	9ユニット
4)試験体の固定	支柱を接着したコンクリート板を試験機のフレームにシャコ万で固定
5)載荷点	辺中央（下図参照）
6)所定荷重	3000N

評 価
・所定荷重のときの変形量：5.0mm以下とする
・残留変形量：3.0mm以下とする

結 果

試験体	ユニットの高さ※ (mm)	所定荷重のときの変形量 (mm)	残留変形量 (mm)	観 察
1	202.0	3.10	0.41	損傷なし
2	201.0	2.98	0.44	損傷なし
3	202.0	2.89	0.38	損傷なし

※ユニット高さは表面仕上げ材を含まない高さ



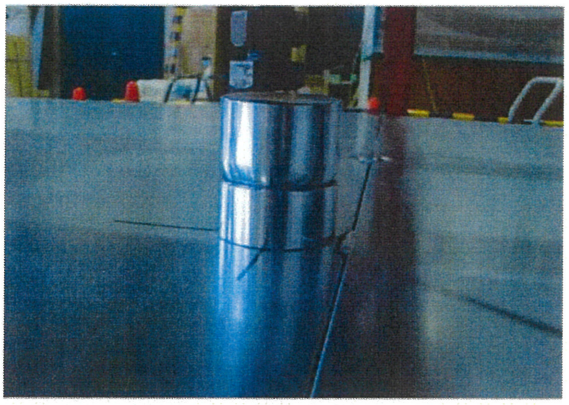
BFW3000 NCの載荷点

No.2308-01
2023年 8月 7日

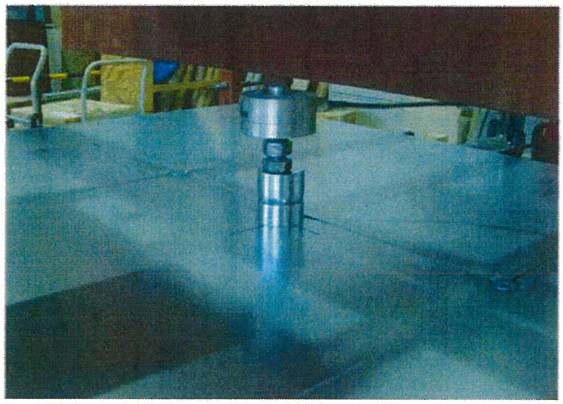
1．2．静荷重試験状況　　BFW3000 NC



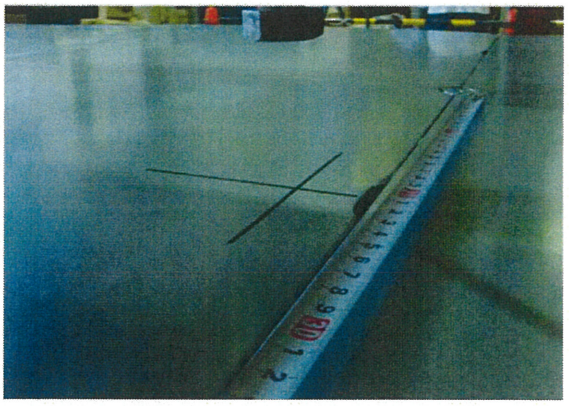
試験状況（載荷前，試験体3）



試験状況（載荷前，試験体3）



試験状況（載荷中，試験体3）



試験状況（載荷後，試験体3）

以　上

No.2308-01
2023年 8月 7日

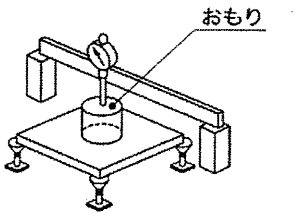
1．3．衝撃試験（1ユニット）報告書　　BFW3000 NC

JIS A 1450による衝撃試験の結果を報告する。

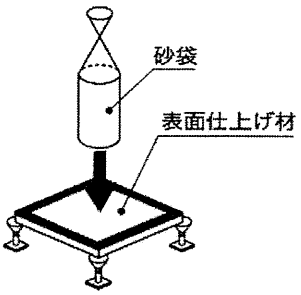
試験日　2023年 6月 12日

場 所　ものつくり大学

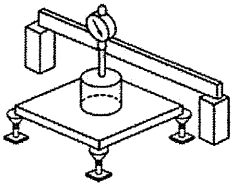
方 法　JIS A 1450による衝撃試験
1）試験体を試験用フレームにセットし、200Nのおもりを載せ，その際の変位をゼロ点とする。
2）おもりを取り除き、20kgの砂袋（底面の直径190mm）を400mmの高さから落下させる。
3）200Nのおもりを戻して残留変位を測定する。
・加撃点は最弱部とする。
・おもりの底面の直径は70mmとする。
・砂袋はもみほぐしたものとする。



ゼロ点設定（加撃前）



加撃


変形測定（加撃後）

設 定

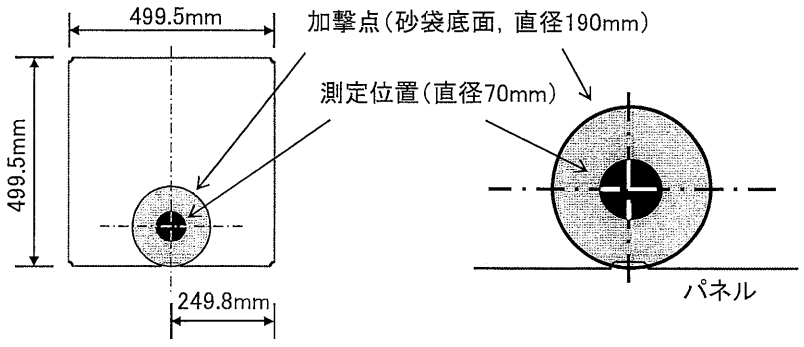
1)試験体の名称	BFW3000 NC
2)試験体の仕上がり高さ	206.5mm
3)試験体の設置	1ユニット
4)試験体の固定	支柱を接着したコンクリート板を試験機のフレームにシャコ万で固定
5)加撃点	辺中央（下図参照）
6)表面仕上げ材名	タイルカーペット（厚6.5mm）

評 価　・残留変形量：3.0mm以下とする
・目視による損傷の有無：ないこと

結 果

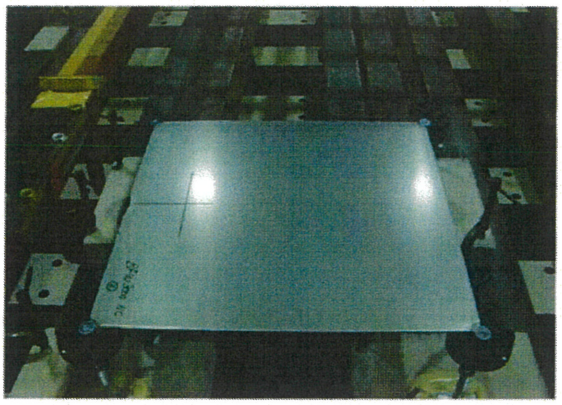
試験体	ユニットの高さ※ (mm)	残留変形 (mm)	損傷の有無
1	201.0	0.12	損傷無し
2	201.0	0.18	損傷無し
3	201.0	0.02	損傷無し

※ユニット高さは表面仕上げ材を含まない高さ

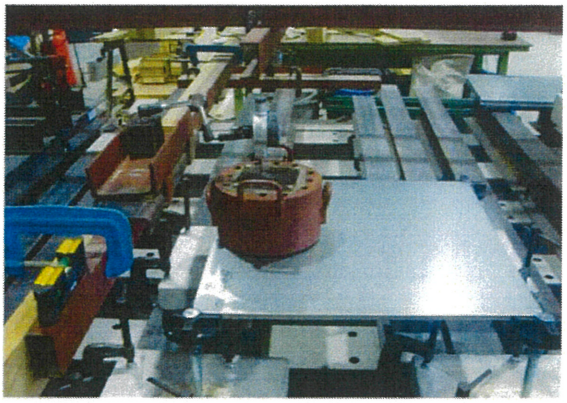


BFW3000 NCの加撃点

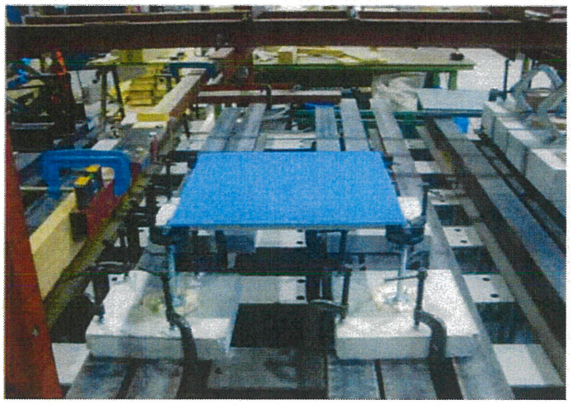
1．4．衝撃試験状況　　BFW3000 NC



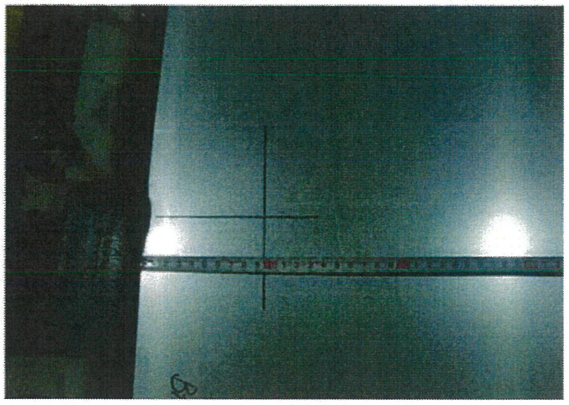
試験状況(加撃前)，仕上材なし(試験体2)



試験状況(加撃前)，仕上材なし(試験体2)



試験状況(加撃前)，仕上材あり(試験体2)



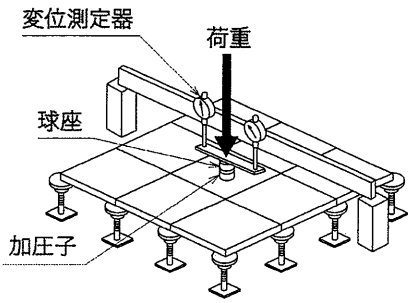
試験状況(加撃後)，仕上材なし(試験体2)

以　上

No.2308-01
2023年 8月 7日

2．1．静荷重試験（9ユニット）報告書　　BFW3000 1C

JIS A 1450による静荷重試験の結果を報告する。



日　時　　2023年 7月 3日

場　所　　ものつくり大学

方　法　　JIS A 1450による静荷重試験
1）試験体を静荷重試験機にセットして、200N載荷し1分後の変位を零点とする。
2）所定荷重を載荷したときの変形量を測定する。
3）荷重を200Nに戻して1分後の残留変形を測定する。
・載荷点はユニットの最弱部とする。
・載荷速度は2000N/分とする。
・載荷子はφ50mmの球座つきとする。

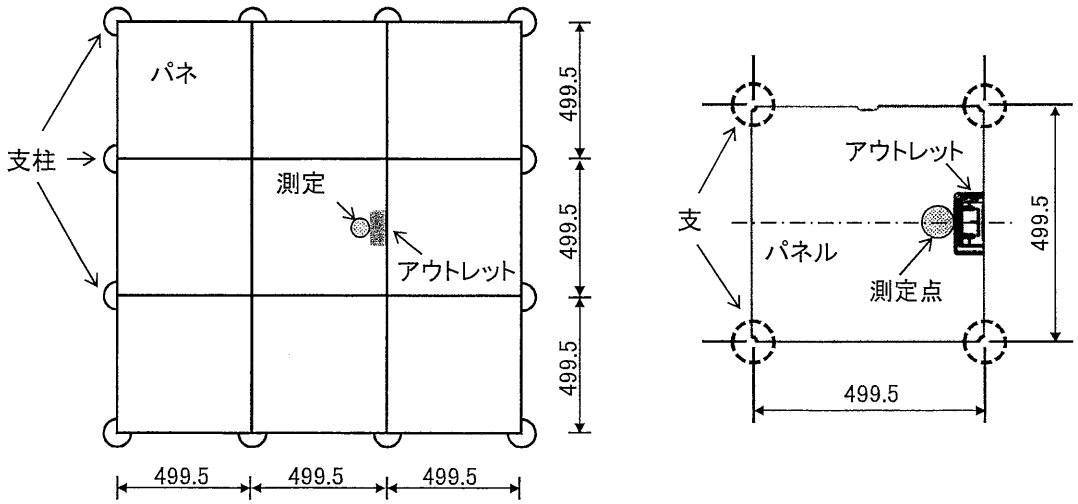
設　定
1)試験体の名称	BFW3000 1C
2)試験体の仕上がり高さ	206.5mm
3)試験体の設置	9ユニット
4)試験体の固定	支柱を接着したコンクリート板を試験機のフレームにシャコ万で固定
5)載荷点	辺中央（下図参照）
6)所定荷重	3000N

評　価
・所定荷重のときの変形量：5.0mm以下とする
・残留変形量：3.0mm以下とする

結　果

試験体	ユニットの高さ※ (mm)	所定荷重のときの変形量 (mm)	残留変形量 (mm)	観 察
1	203.0	2.43	0.16	損傷なし
2	202.0	2.27	0.15	損傷なし
3	203.0	2.41	0.15	損傷なし

※ユニット高さは表面仕上げ材を含まない高さ

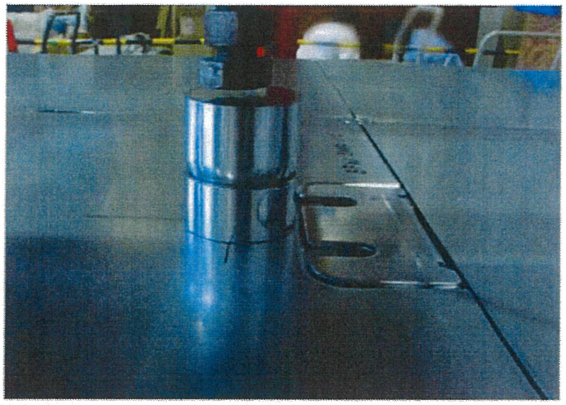


BFW3000 1Cの載荷点

2. 2. 静荷重試験状況　　BFW3000 1C



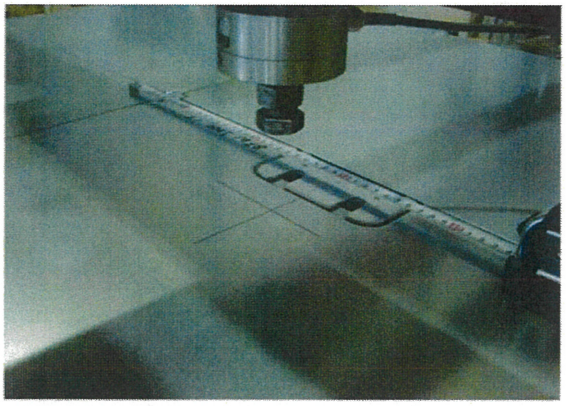
試験状況（載荷前，試験体1）



試験状況（載荷前，試験体3）



試験状況（載荷中，試験体3）



試験状況（載荷後，試験体3）

以 上

No.2308-01
2023年 8月 7日

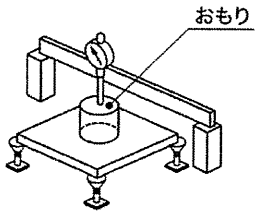
2．3．衝撃試験（1ユニット）報告書　　BFW3000 1C

JIS A 1450による衝撃試験の結果を報告する。

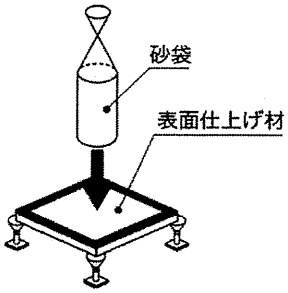
試験日　2023年 6月 12日

場 所　ものつくり大学

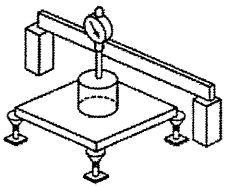
方 法　JIS A 1450による衝撃試験
1）試験体を試験用フレームにセットし、200Nのおもりを載せ，その際の変位をゼロ点とする。
2）おもりを取り除き、20kgの砂袋（底面の直径190mm）を400mmの高さから落下させる。
3）200Nのおもりを戻して残留変位を測定する。
・加撃点は最弱部とする。
・おもりの底面の直径は70mmとする。
・砂袋はもみほぐしたものとする。



ゼロ点設定（加撃前）



加撃


変形測定（加撃後）

設 定

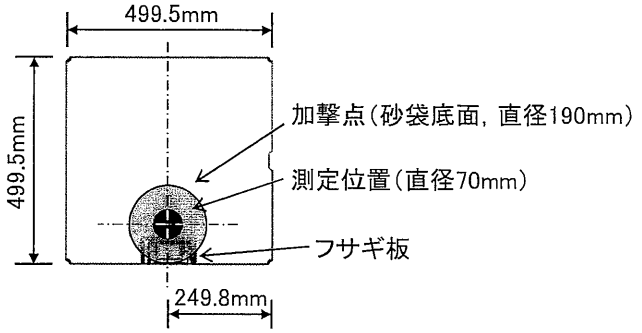
1)試験体の名称	BFW3000 1C
2)試験体の仕上がり高さ	206.5mm
3)試験体の設置	1ユニット
4)試験体の固定	支柱を接着したコンクリート板を試験機のフレームにシャコ万で固定
5)加撃点	辺中央（下図参照）
6)表面仕上げ材名	タイルカーペット（厚6.5mm）

評 価　・残留変形量：3.0mm以下とする
・目視による損傷の有無：ないこと

結 果

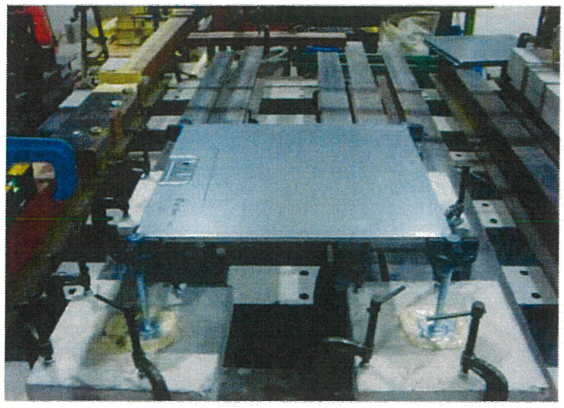
試験体	ユニットの高さ※ (mm)	残留変形 (mm)	損傷の有無
1	201.0	0.06	損傷無し
2	201.0	0.15	損傷無し
3	200.0	0.11	損傷無し

※ユニット高さは表面仕上げ材を含まない高さ

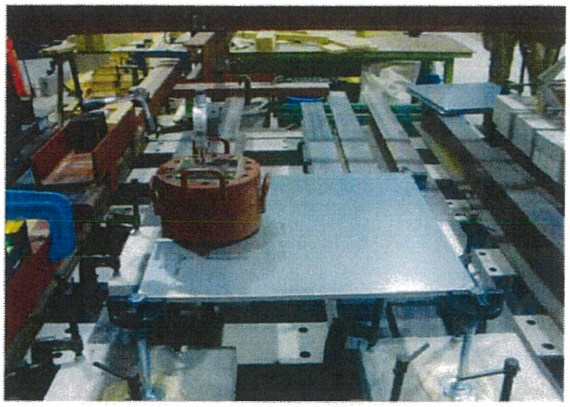


BFW3000 1Cの加撃点

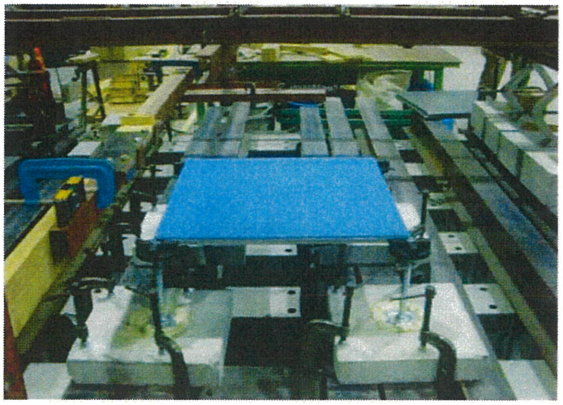
2．4．衝撃試験状況　　BFW3000 1C



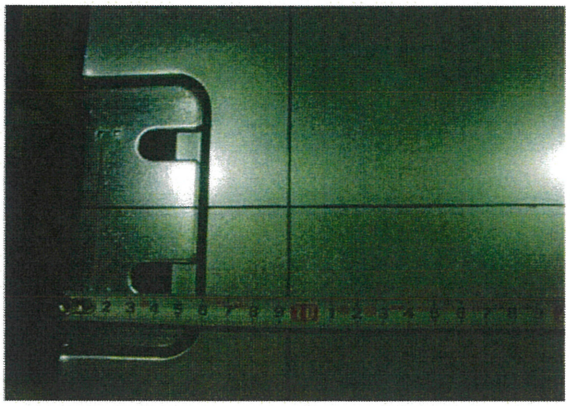
試験状況(加撃前)，仕上材なし(試験体1)



試験状況(加撃前)，仕上材なし(試験体1)



試験状況(加撃前)，仕上材あり(試験体1)



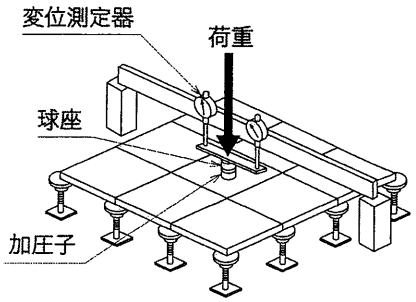
試験状況(加撃後)，仕上材なし(試験体1)

以　上

No.2308-01
2023年 8月 7日

3．1．静荷重試験（9ユニット）報告書　　BFW5000 NC

JIS A 1450による静荷重試験の結果を報告する。



日　時　　2023年 6月 19日

場　所　　ものつくり大学

方　法　　JIS A 1450による静荷重試験
1）試験体を静荷重試験機にセットして、200N載荷し1分後の変位を零点とする。
2）所定荷重を載荷したときの変形量を測定する。
3）荷重を200Nに戻して1分後の残留変形を測定する。
・載荷点はユニットの最弱部とする。
・載荷速度は2000N/分とする。
・載荷子はφ50mmの球座つきとする。

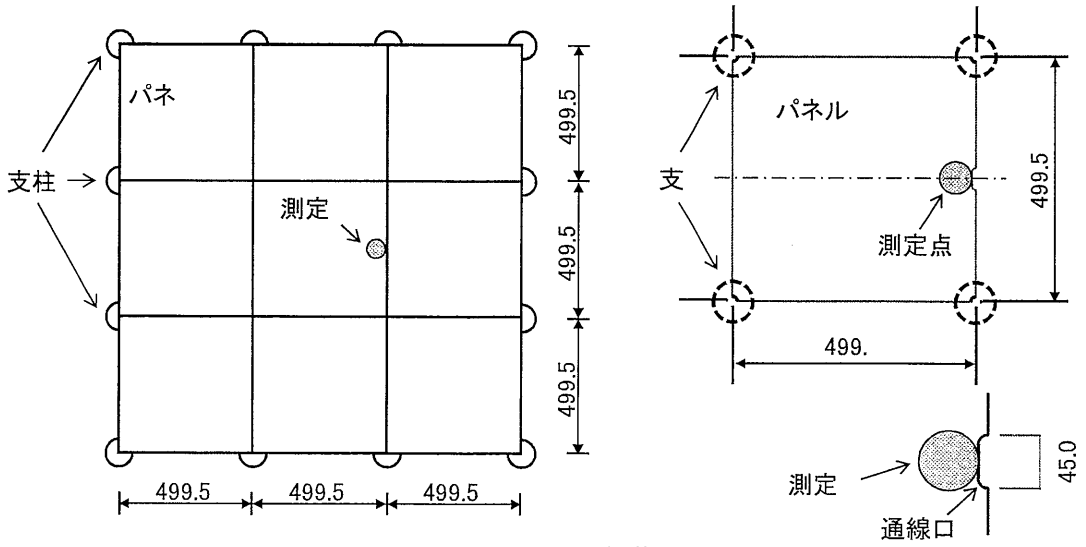
設　定
1)試験体の名称	BFW5000 NC
2)試験体の仕上がり高さ	206.5mm
3)試験体の設置	9ユニット
4)試験体の固定	支柱を接着したコンクリート板を試験機のフレームにシャコ万で固定
5)載荷点	辺中央（下図参照）
6)所定荷重	5000N

評　価　　・所定荷重のときの変形量：5.0mm以下とする
・残留変形量：3.0mm以下とする

結　果

試験体	ユニットの高さ※ (mm)	所定荷重のときの変形量 (mm)	残留変形量 (mm)	観　察
1	201.0	4.87	0.61	損傷なし
2	202.0	4.91	0.68	損傷なし
3	201.0	4.58	0.55	損傷なし

※ユニット高さは表面仕上げ材を含まない高さ

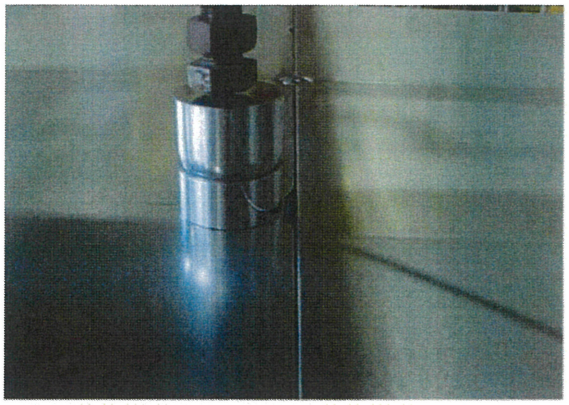


BFW5000 NCの載荷点

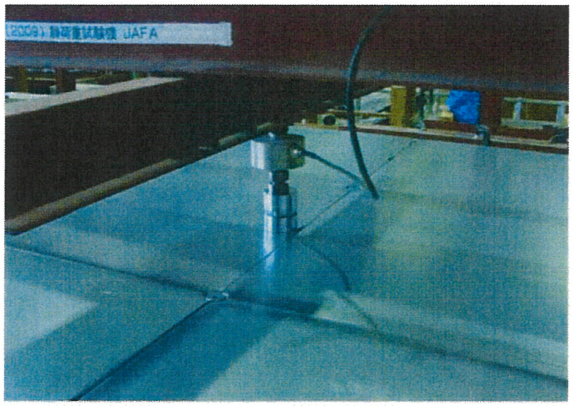
3. 2. 静荷重試験状況　　BFW5000 NC



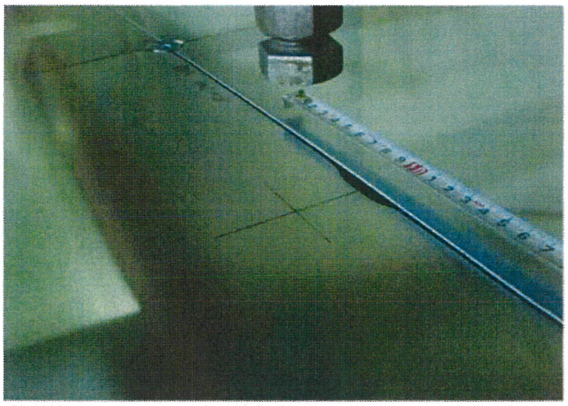
試験状況(載荷前, 試験体2)



試験状況(載荷前, 試験体2)



試験状況(載荷中, 試験体2)



試験状況(載荷後, 試験体2)

以 上

No.2308-01
2023年 8月 7日

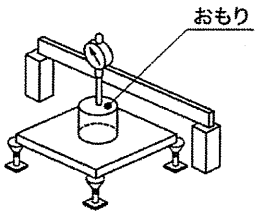
3．3．衝撃試験（1ユニット）報告書　　BFW5000 NC

JIS A 1450による衝撃試験の結果を報告する。

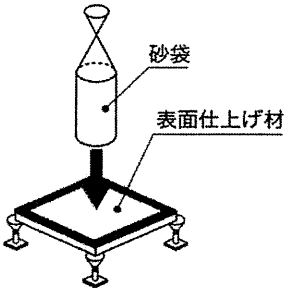
試験日　2023年 6月 12日

場 所　ものつくり大学

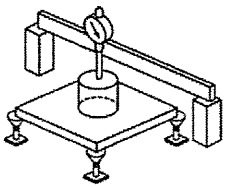
方 法　JIS A 1450による衝撃試験
1）試験体を試験用フレームにセットし、200Nのおもりを載せ，その際の変位をゼロ点とする。
2）おもりを取り除き、20kgの砂袋（底面の直径190mm）を400mmの高さから落下させる。
3）200Nのおもりを戻して残留変位を測定する。
・加撃点は最弱部とする。
・おもりの底面の直径は70mmとする。
・砂袋はもみほぐしたものとする。



ゼロ点設定（加撃前）



加撃


変形測定（加撃後）

設 定

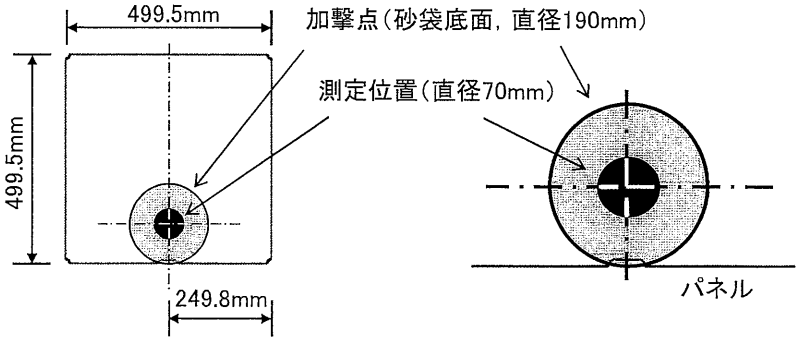
1)試験体の名称	BFW5000 NC
2)試験体の仕上がり高さ	206.5mm
3)試験体の設置	1ユニット
4)試験体の固定	支柱を接着したコンクリート板を試験機のフレームにシャコ万で固定
5)加撃点	辺中央（下図参照）
6)表面仕上げ材名	タイルカーペット（厚6.5mm）

評 価　・残留変形量：3.0mm以下とする
・目視による損傷の有無：ないこと

結 果

試験体	ユニットの高さ※ (mm)	残留変形 (mm)	損傷の有無
1	201.0	0.02	損傷無し
2	201.0	0.08	損傷無し
3	201.0	0.04	損傷無し

※ユニット高さは表面仕上げ材を含まない高さ

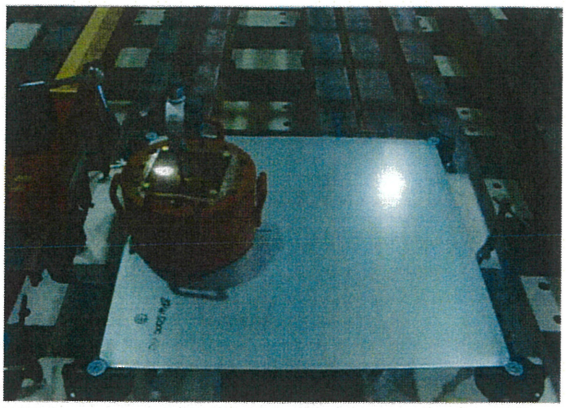


BFW5000 NCの加撃点

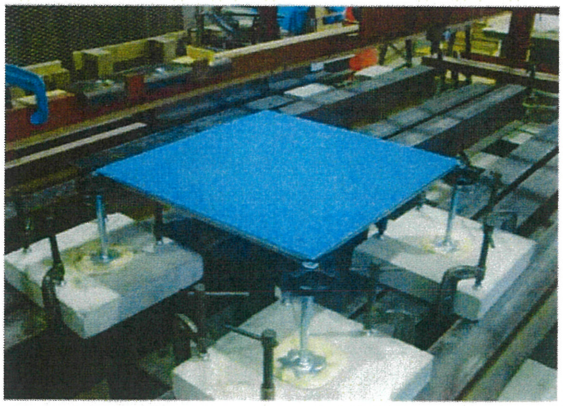
3．4．衝撃試験状況　　BFW5000 NC



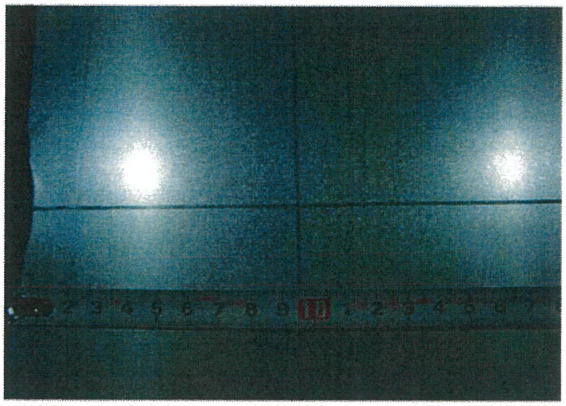
試験状況(加撃前)，仕上材なし(試験体3)



試験状況(加撃前)，仕上材なし(試験体3)



試験状況(加撃前)，仕上材あり(試験体3)



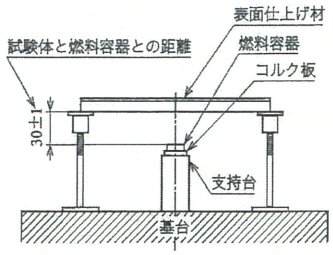
試験状況(加撃後)，仕上材なし(試験体3)

以　上

No.2308-01
2023年 8月 7日

3．5．燃焼試験（1ユニット）報告書　　BFW5000 NC

JIS A 1450による燃焼試験の結果を報告する。



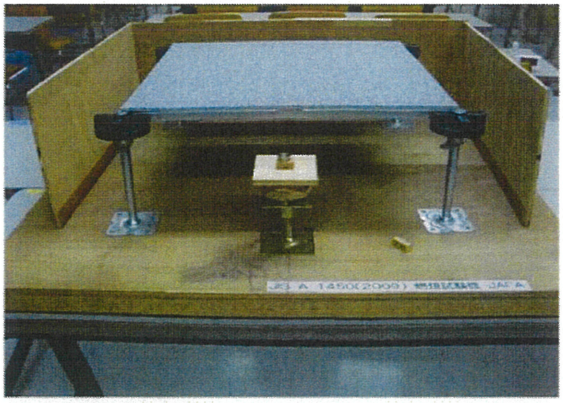
日　時　　2023年 7月 8日

場　所　　ものつくり大学

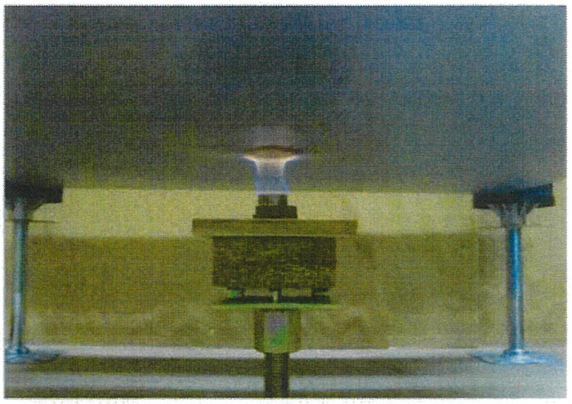
方　法　　JIS A 1450による燃焼試験
1）試験体の中央下部30mmに燃料カップを置く。
2)燃料に着火して燃料が燃え尽きてからのの残炎時間を測定する。
・表面材を敷設して観察する。
・試験体に着火しない場合は残炎時間0秒とする。
・残念時間の測定は60秒までとし、60秒を超えるものは「60秒以上」とする。

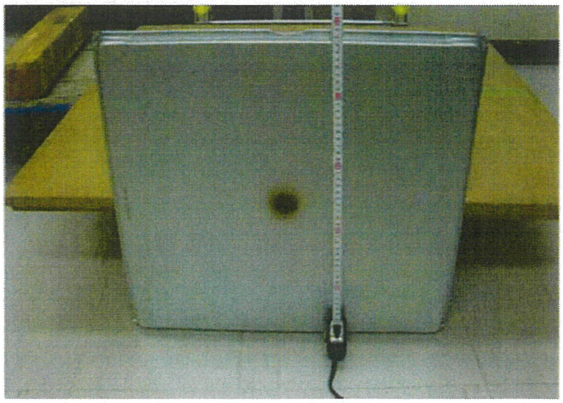
設　定　　1)試験体の名称　　BFW5000 NC
2)試験体の仕上がり高さ 206.5mm
3)試験体の設置　　1ユニット
4)燃焼位置　　試験体中央

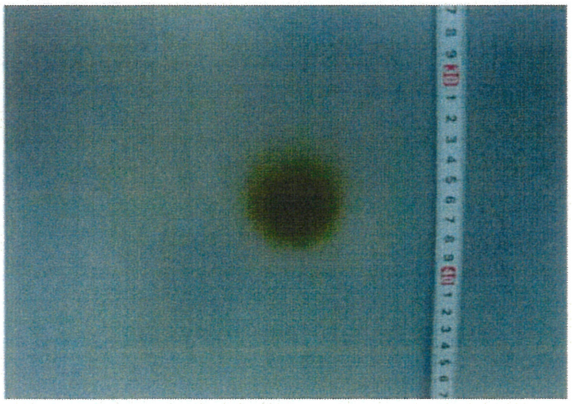
結　果	残炎時間(秒)	表面仕上げ材名	観　察
	0	タイルカーペット（厚6.5mm）	損傷なし



試験体設置状況


試験状況


試験後の試験体背面の状況

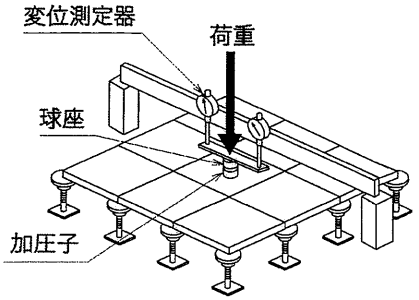

試験後の試験体背面の状況

以　上

No.2308-01
2023年 8月 7日

4．1．静荷重試験（9ユニット）報告書　　BFW5000 1C

JIS A 1450による静荷重試験の結果を報告する。



日　時　　2023年 6月 19日

場　所　　ものつくり大学

方　法　　JIS A 1450による静荷重試験
1）試験体を静荷重試験機にセットして、200N載荷し1分後の変位を零点とする。
2）所定荷重を載荷したときの変形量を測定する。
3）荷重を200Nに戻して1分後の残留変形を測定する。
・載荷点はユニットの最弱部とする。
・載荷速度は2000N/分とする。
・載荷子はφ50mmの球座つきとする。

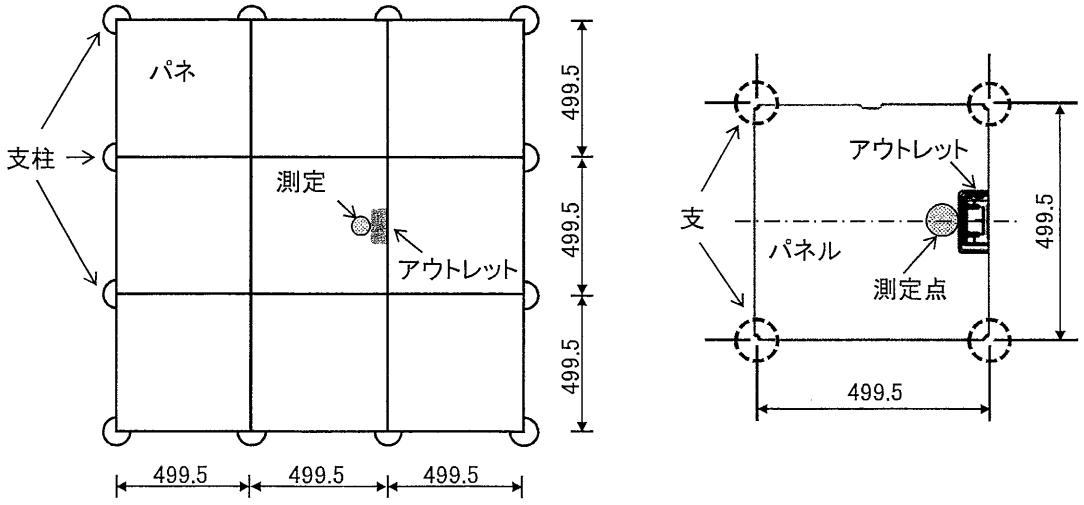
設　定
1)試験体の名称	BFW5000 1C
2)試験体の仕上がり高さ	206.5mm
3)試験体の設置	9ユニット
4)試験体の固定	支柱を接着したコンクリート板を試験機のフレームにシャコ万で固定
5)載荷点	辺中央（下図参照）
6)所定荷重	5000N

評　価
・所定荷重のときの変形量：5.0mm以下とする
・残留変形量：3.0mm以下とする

結　果

試験体	ユニットの高さ※ (mm)	所定荷重のときの変形量 (mm)	残留変形量 (mm)	観 察
1	203.0	4.41	0.46	損傷なし
2	204.0	4.37	0.42	損傷なし
3	202.0	4.41	0.37	損傷なし

※ユニット高さは表面仕上げ材を含まない高さ

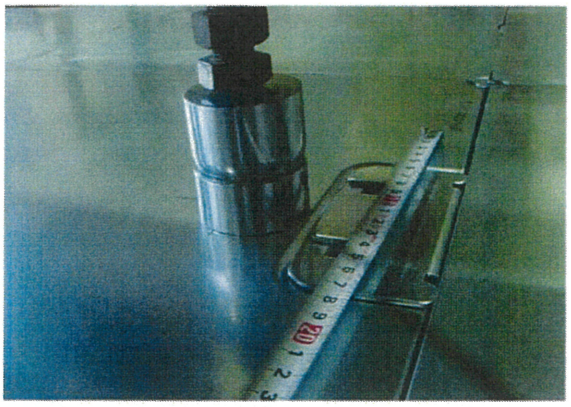


BFW5000 1Cの載荷点

4. 2. 静荷重試験状況　　BFW5000 1C



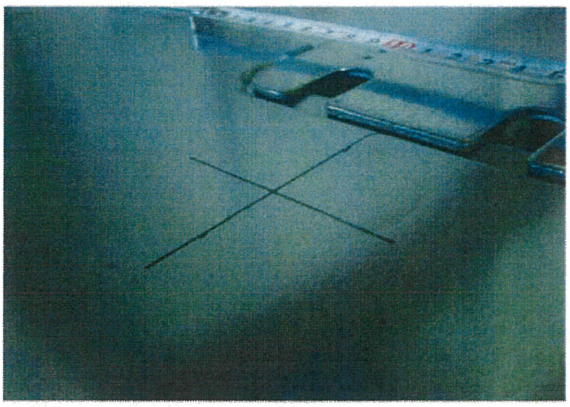
試験状況（載荷前，試験体1）



試験状況（載荷前，試験体2）



試験状況（載荷中，試験体2）



試験状況（載荷後，試験体1）

以　上

No.2308-01
2023年 8月 7日

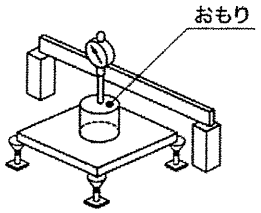
4．3．衝撃試験（1ユニット）報告書　　BFW5000 1C

JIS A 1450による衝撃試験の結果を報告する。

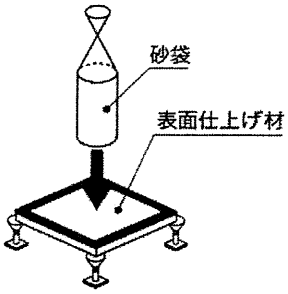
試験日　2023年 6月 12日

場 所　ものつくり大学

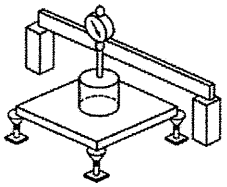
方 法　JIS A 1450による衝撃試験
1）試験体を試験用フレームにセットし、200Nのおもりを載せ，その際の変位をゼロ点とする。
2）おもりを取り除き、20kgの砂袋（底面の直径190mm）を400mmの高さから落下させる。
3）200Nのおもりを戻して残留変位を測定する。
・加撃点は最弱部とする。
・おもりの底面の直径は70mmとする。
・砂袋はもみほぐしたものとする。



ゼロ点設定（加撃前）



加撃


変形測定（加撃後）

設 定

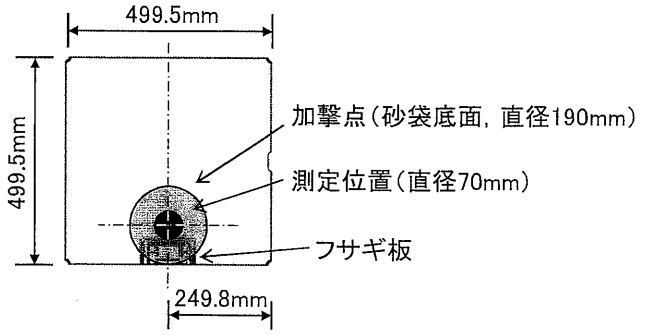
1)試験体の名称		BFW5000 1C
2)試験体の仕上がり高さ		206.5mm
3)試験体の設置		1ユニット
4)試験体の固定		支柱を接着したコンクリート板を試験機のフレームにシャコ万で固定
5)加撃点		辺中央（下図参照）
6)表面仕上げ材名		タイルカーペット（厚6.5mm）

評 価　・残留変形量：3.0mm以下とする
・目視による損傷の有無：ないこと

結 果

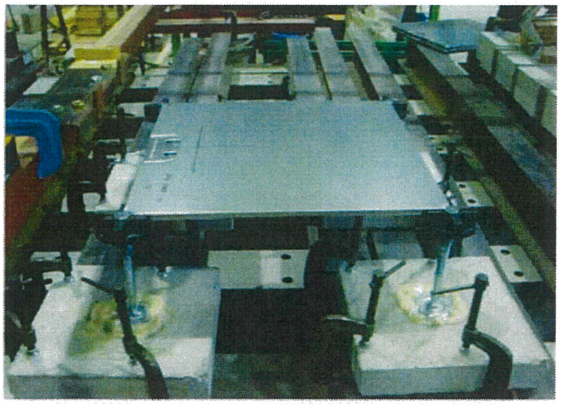
試験体	ユニットの高さ※ (mm)	残留変形 (mm)	損傷の有無
1	201.0	0.03	損傷無し
2	201.0	0.12	損傷無し
3	200.0	0.14	損傷無し

※ユニット高さは表面仕上げ材を含まない高さ

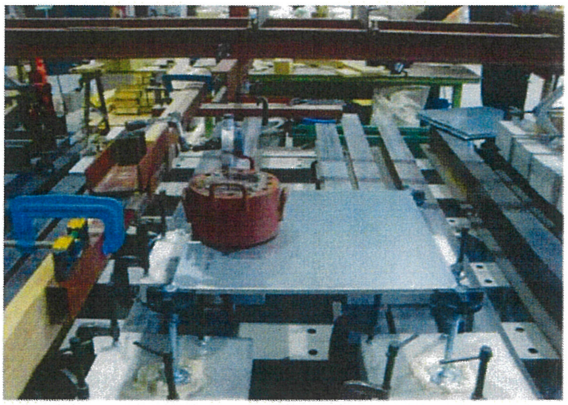


BFW5000 1Cの加撃点

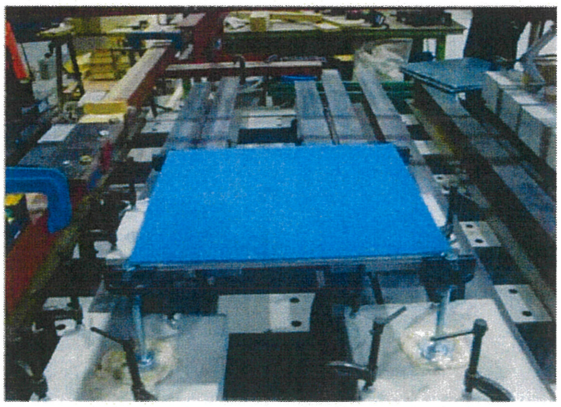
4．4．衝撃試験状況　　BFW5000 1C



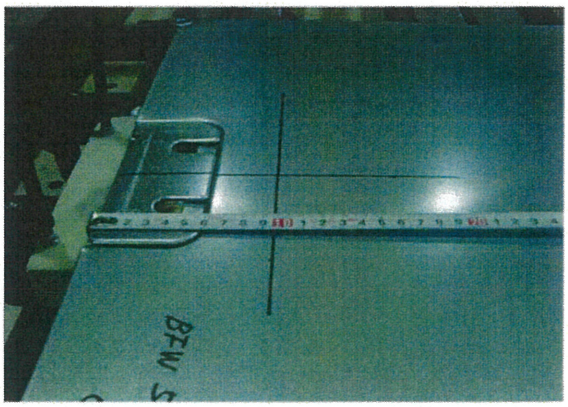
試験状況(加撃前)，仕上材なし(試験体1)



試験状況(加撃前)，仕上材なし(試験体1)



試験状況(加撃前)，仕上材あり(試験体1)

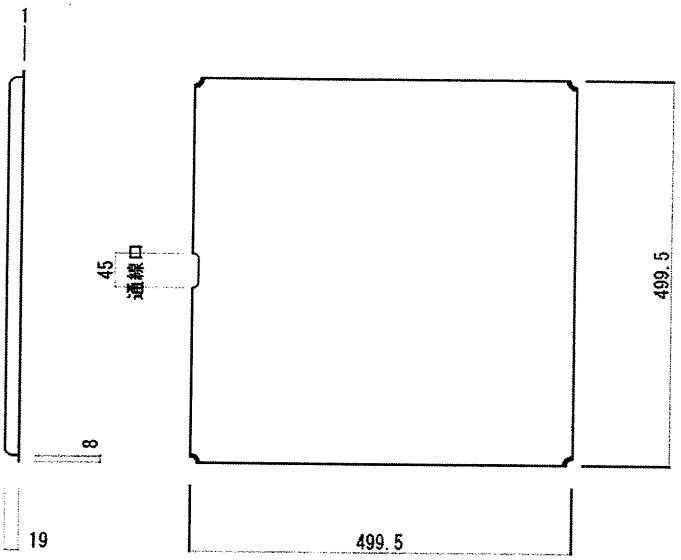


試験状況(加撃後)，仕上材なし(試験体1)

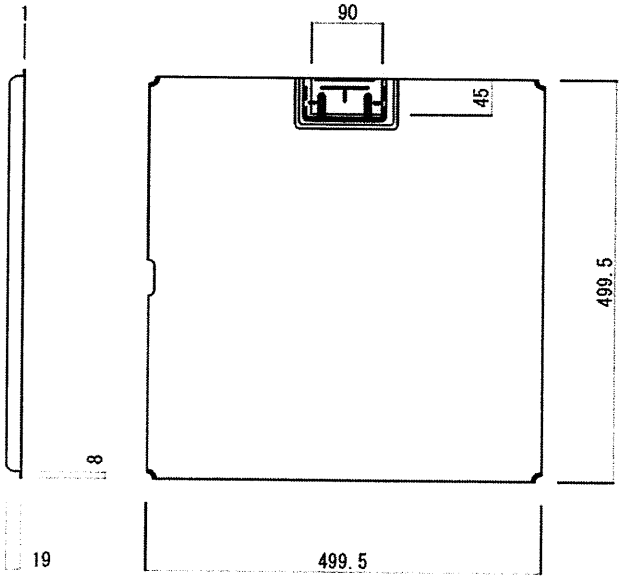
以 上

5. 試験体図　　BFW共通

標準パネル(NC)



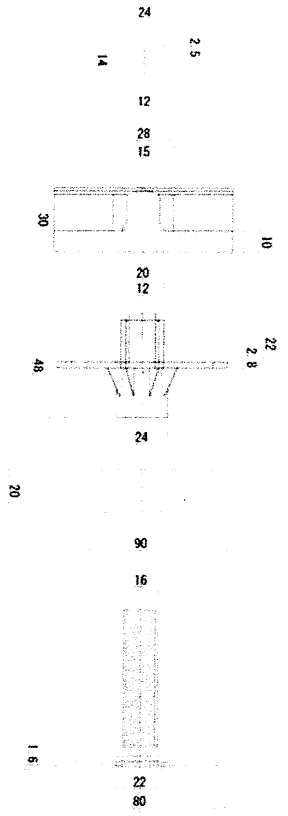
配線パネル(1C)



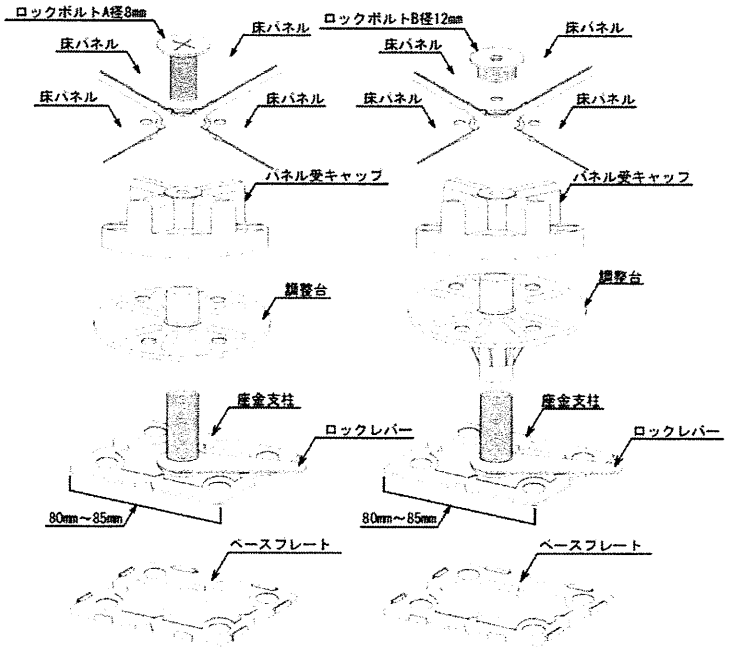
パネル型式	強度（中央集中Φ50）		パネル材質	標準床高さ	表面仕上材
	剛性				
BFW (1C・NC)			スチール +ウッドコア	40mm ～ 500mm	タイルカーペット

No.2308-01
2023年 8月 7日

支柱



スタンダード支柱　納まり図



■適応床高さ　単位：mm

■適応床高さ	配線空間（h）
40～50	20～30

■適応床高さ　単位：mm

■適応床高さ	配線空間（h）
60～500	40～480

以 上

ステップライン株式会社

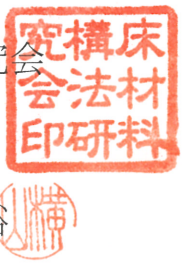
Eco L&C Co.,Ltd　　殿

フリーアクセスフロアの
ローリングロード試験結果
報告書

令和５年７月27日

床材料構法研究会

代表　横山　裕



〒152-0035　東京都目黒区自由が丘2-4-20
携帯：090-7273-4241

1. 試験項目

フリーアクセスフロアのローリングロード試験

2. 試験方法

JIS A 1450：2015 の 6.4 に準拠

試験条件　所定荷重値：1,000N

往復数：5,000

走行速度：10m／分

3. 試験体他

BFW5000

独立支柱タイプ

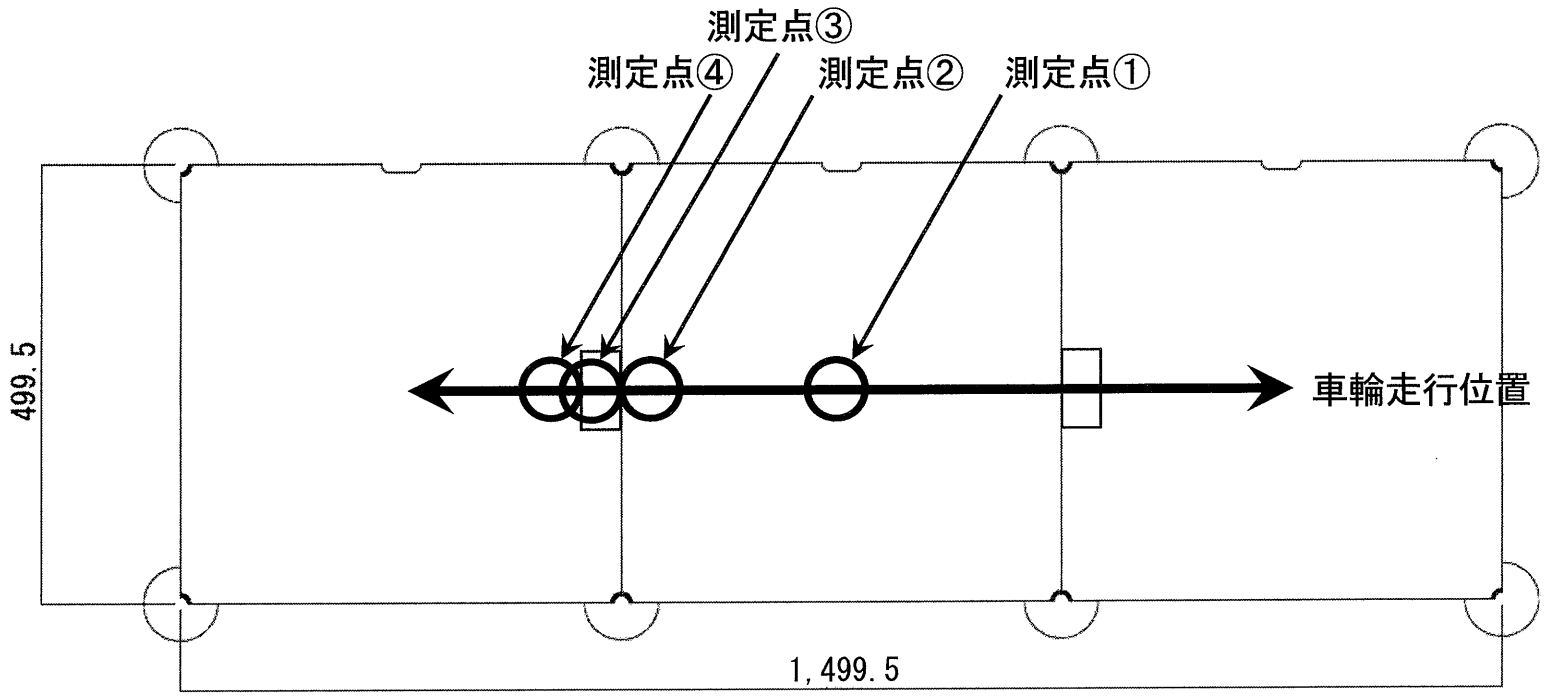
ユニット：500mm×500mm×H200mm

ユニット数：1×3＝3 ユニット

アンダーシート：なし

4. 試験体の設置状況および車輪走行位置，測定点

添付図の通り



添付図　試験体の設置状況および車輪走行位置，測定点

ローリングロード試験結果

試験体：BFW5000
　　独立支柱タイプ
　　500mm×500mm×H200mm
試験日：令和5年5月24～25日

以下に、JIS A 1450に準拠して結果を示す

a）所定荷重値：1,000N
b）往復数：5000(走行速度：10m/分)
c）試験体のユニット数，設置状況および負荷位置，測定点：添付図参照
　ユニット数：1×3＝3ユニット
　設置状況および負荷位置：添付図参照
　　測定点①～④の変形量を測定
d）車輪の直径，幅及び硬さ：直径150mm，幅30mm，硬さ90HS
e）ユニット高さ：200mm(タイルカーペット込みで206.5mm)
f）変形量：下表参照

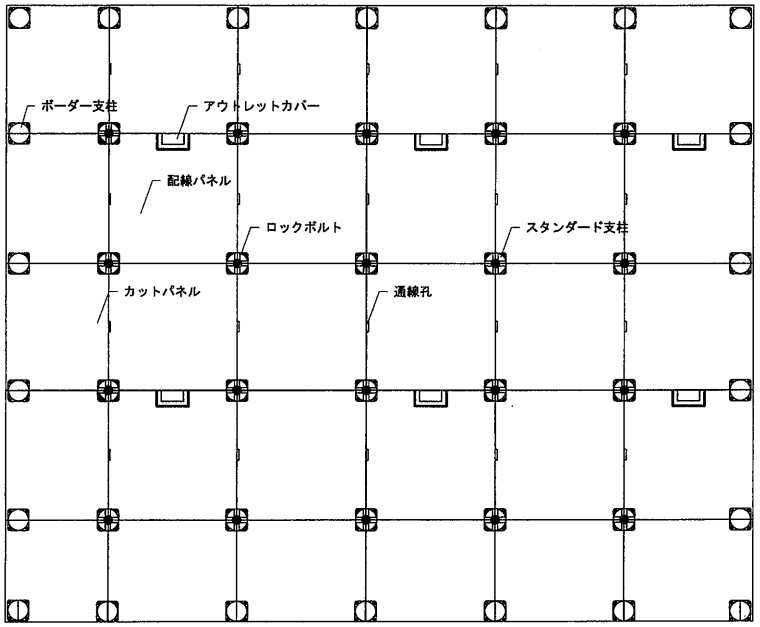
測定点	変形量	備考
①	0.00mm	試験体上の車輪走行位置(添付図参照)に ローリングロードを載荷
②	0.05mm	
③	0.11mm	
④	0.00mm	

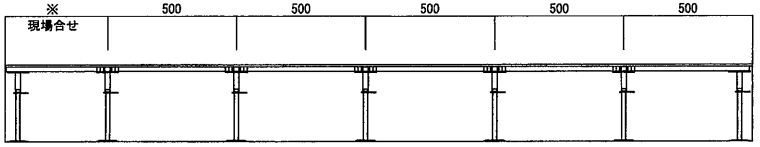
g）損傷の有無：なし
h）がたつきの有無：なし
i）表面仕上げ材名：6.5mm厚タイルカーペット(東リ製GA-100)
　　ピールアップボンド(東リ製エコGAセメント)で固定
　アンダーシート：なし

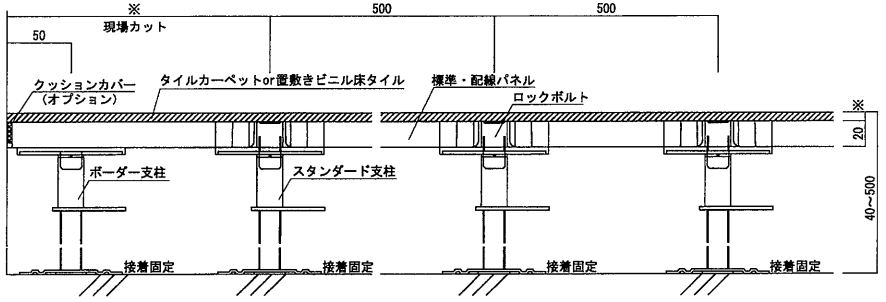
結果の評価

残留変形量：0.11mm
損傷の有無：なし
がたつきの有無：なし

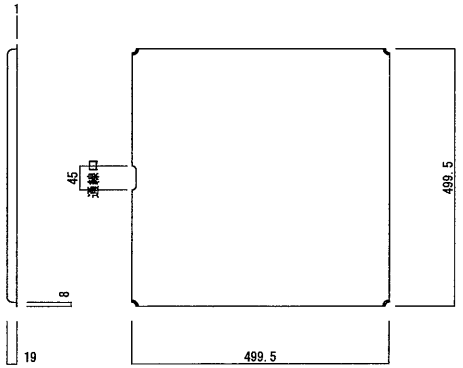
基準納まり図S=1/20



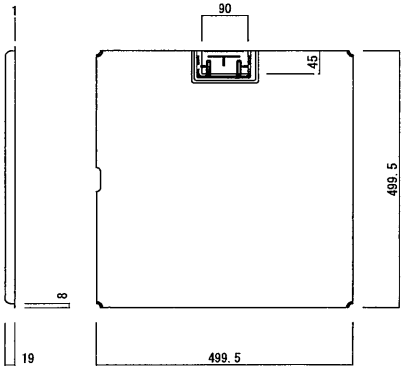




標準パネル(NC)

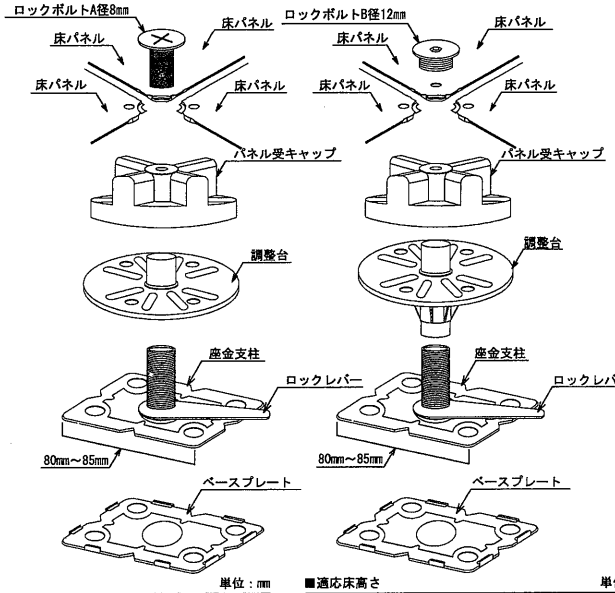


配線パネル(1C)



パネル型式	強度（中央集中Φ50）		パネル材質	標準床高さ	表面仕上材
	剛性				
BFW (1C・NC)			スチール +ウッドコア	40mm 500mm	タイルカーペット

スタンダード支柱　納まり図



■適応床高さ　単位：mm

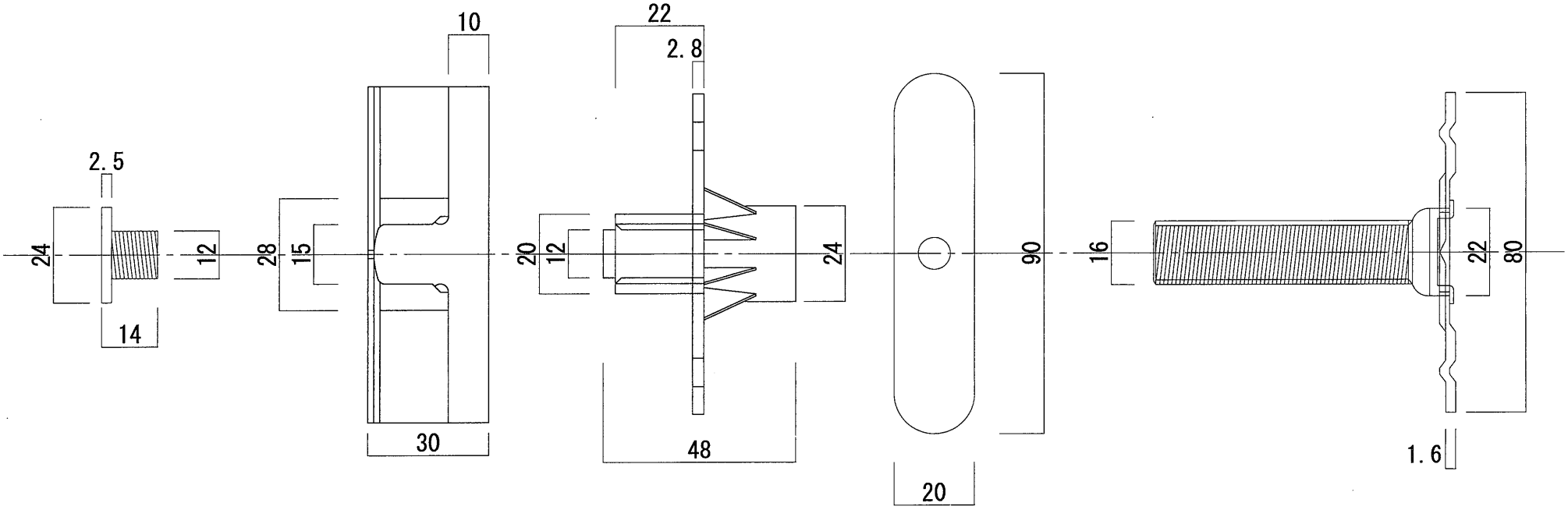
■適応床高さ	配線空間（h）
40~50	20~30

■適応床高さ　単位：mm

■適応床高さ	配線空間（h）
60~500	40~480

STEP LINE
ステップライン株式会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-10
青木ビル6階

工事名称：	縮尺：	作成日：	仕様：本体パネル サイズ:500x500xH19mm	重量:5kg/㎡
図面名称： パネル・断面納まり図	サイズ： A3	備考：	副資材：	オプション副資材：	仕上げ材： ビニルタイル(オプション) タイルカーペット(オプション)



STEP LINE ステップライン株式会社 東京都港区虎ノ門4-1-10 青木ビル6F TEL：03-5733-3927　FAX：03-5733-3928	プロジェクト名 pedastal	縮 尺 S=1/1	図面NO.	担 当	作成日 2023.07.22	

発行番号：第２３Ａ０９７１号
発 行 日：２０２３年　８月１５日

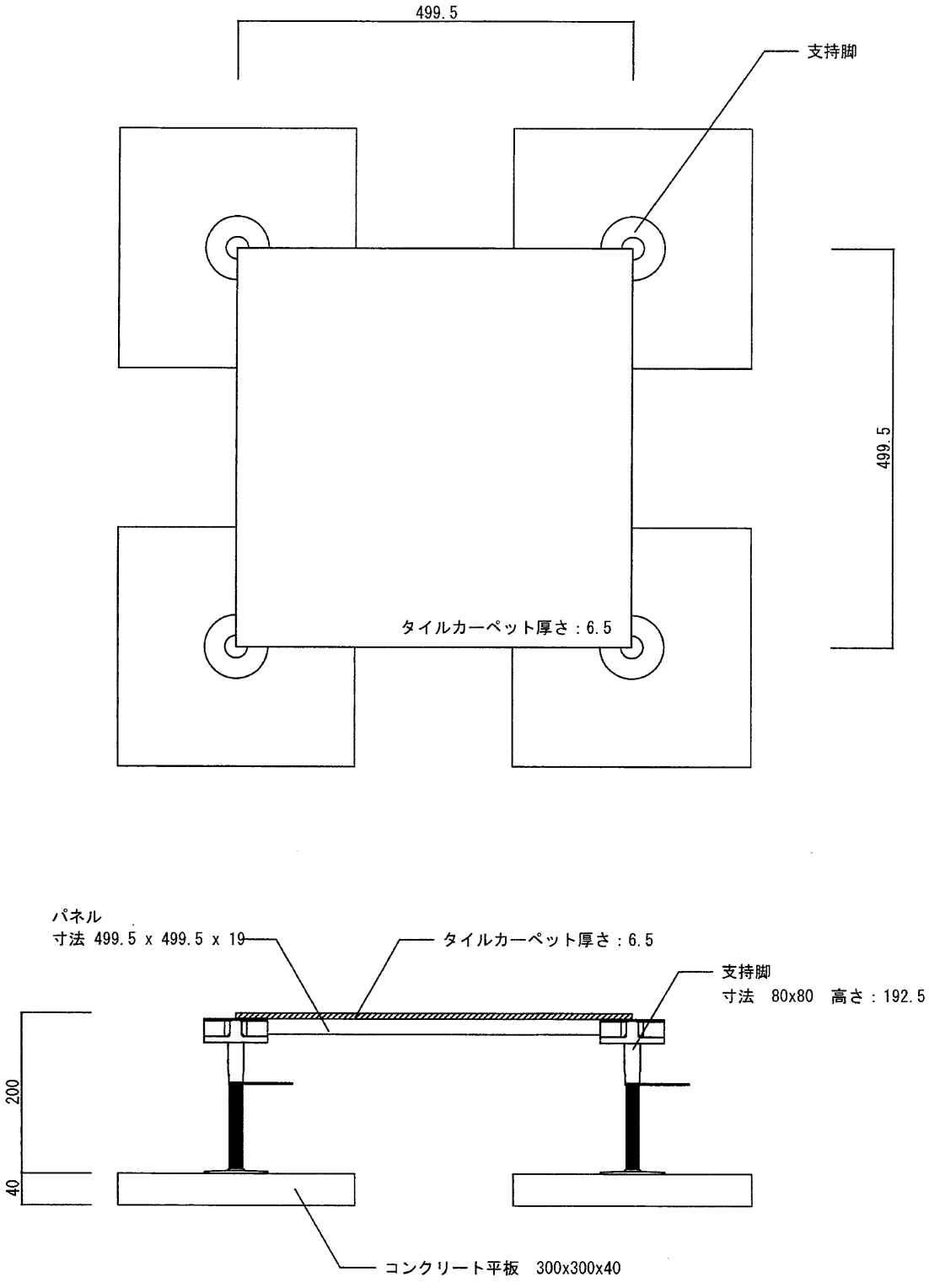
品　質　性　能　試　験　報　告　書

一般財団法人　建材試験センター
中央試験所長　真　野　孝　次
埼玉県草加市稲荷５丁目２１番２０号

試験名称	フリーアクセスフロア「BFW5000」の性能試験			
依頼者	名　称：ステップライン株式会社 所在地：東京都港区虎ノ門４−１−10			
	名　称：Eco L&C Co.,Ltd 所在地：大韓民国京畿道始興市産技大学路 77、12 洞 203 号			
試験項目	帯電性，漏えい抵抗			
試験体（依頼者提出資料）	種　類	支柱調整式		
	寸　法	499.5 mm×499.5 mm		
	ユニットの高さ	193.5 mm		
	構成材	パネル	499.5 mm×499.5 mm×19 mm	
		支柱	80 mm×80 mm×192.5 mm	
	表面仕上げ材	タイルカーペット　厚さ 6.5 mm（帯電性試験で使用）		
	数　量	各１体		
	参　　照：図１～図４（試験体）			
試験方法	JIS A 1450（フリーアクセスフロア試験方法）6.6 帯電性試験及び 6.7 漏えい抵抗試験に従って行った。			
試験結果	試験項目	最大帯電電位（V）	半減時間（ms）	U 値
	帯電性	13	834	4.6
		10	779	
		7	838	
	漏えい抵抗	漏えい抵抗値（Ω）		
		1.0×10^{9}		
	（注）試験は，外部に委託して行った。			
試験期間	２０２３年　７月１０日			
担当者	構造グループ　　統括リーダー　　上　山　耕　平 庄　司　秀　雄 菱　沼　　匠（主担当）			
試験場所	試験委託先：一般財団法人　カケンテストセンター　東京事業所 （埼玉県川口市幸町 1-7-22）			

試験所長の文書による承認なしでは，完全な複製を除き，一部分のみを複製してはならない。

単位 mm

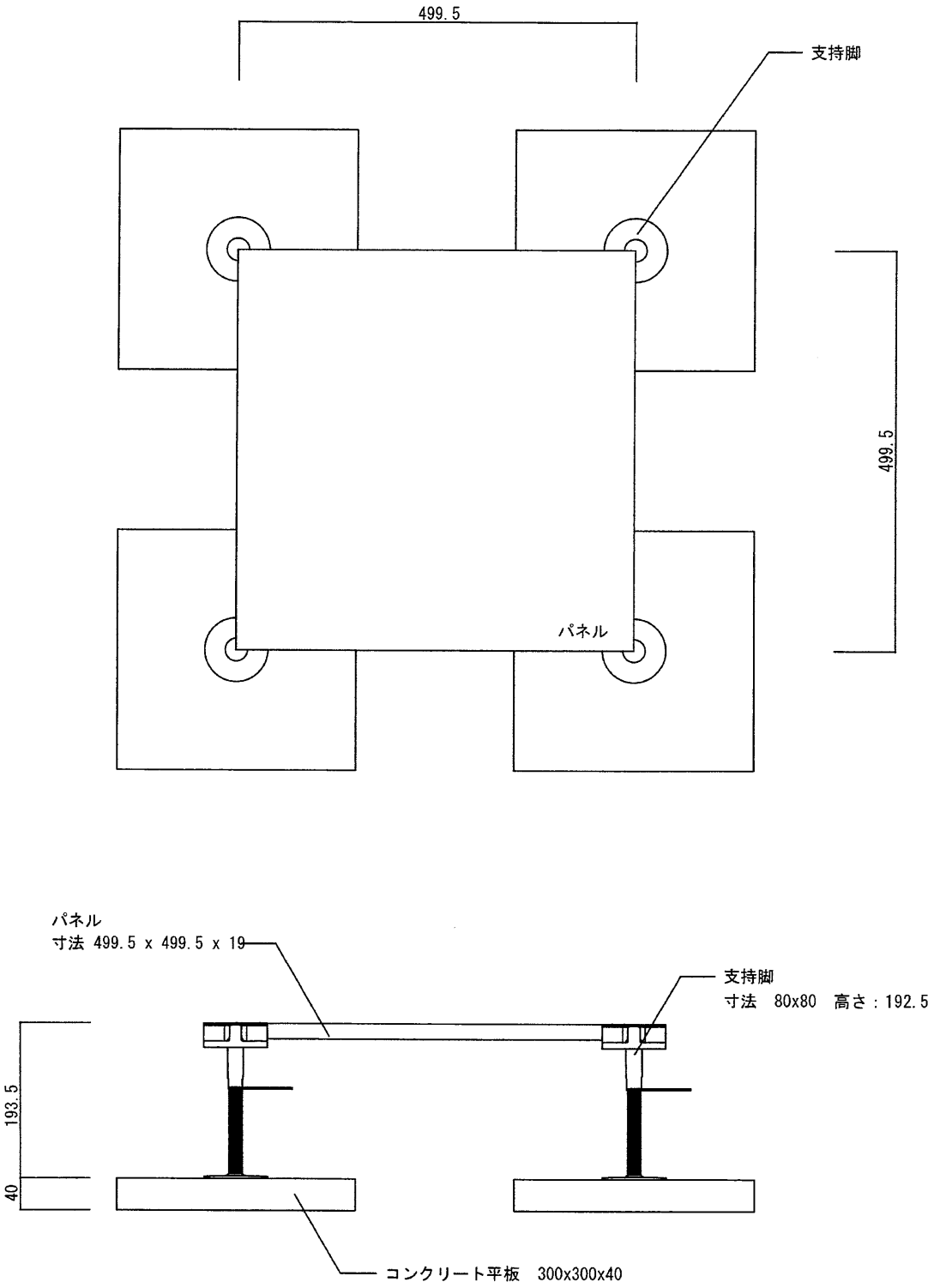


（依頼者提出資料）

図１　試験体（帯電性試験）

試験所長の文書による承認なしでは，完全な複製を除き，一部分のみを複製してはならない。

単位 mm

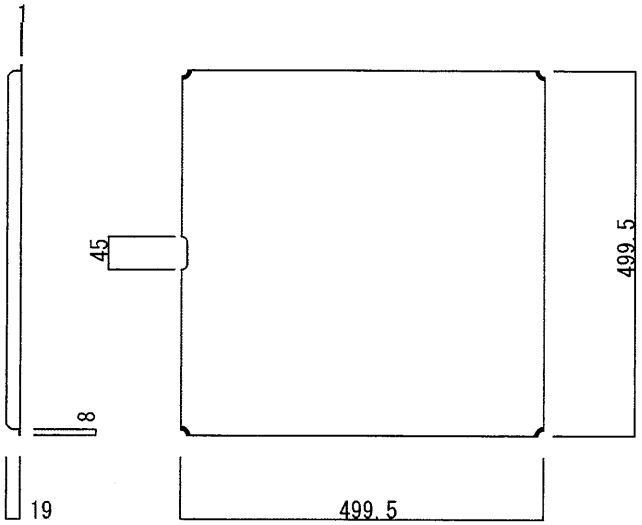


（依頼者提出資料）

図２　試験体（漏えい抵抗試験）

試験所長の文書による承認なしでは，完全な複製を除き，一部分のみを複製してはならない。

単位 mm

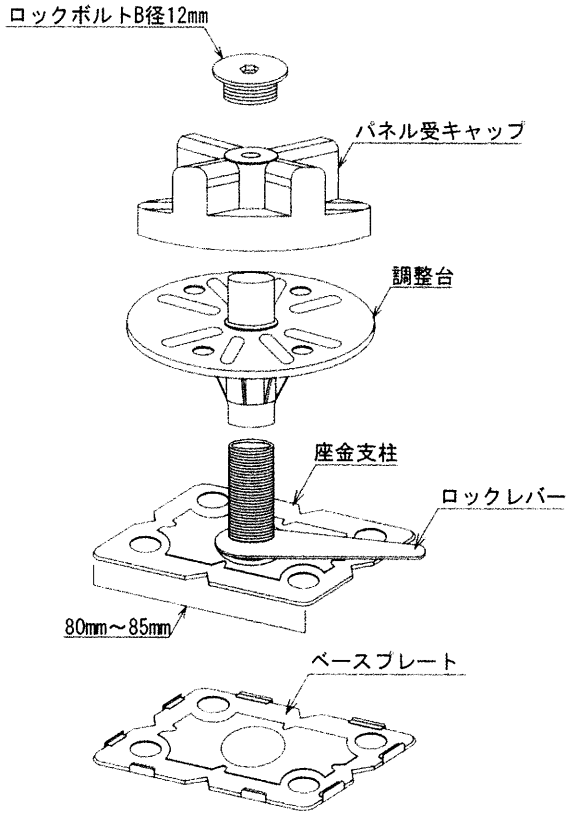


パネル材質
スチール+MDF

（依頼者提出資料）

図３　試験体（パネル）

単位 mm



（依頼者提出資料）

図４　試験体（支柱）

以上

試験所長の文書による承認なしでは，完全な複製を除き，一部分のみを複製してはならない。

ステップライン株式会社

Eco L&C Co.,Ltd　　殿

フリーアクセスフロアの振動試験結果報告書

令和５年７月27日

床材料構法研究会

代表　横山　裕





〒152-0035　東京都目黒区自由が丘2-4-20

携帯：090-7273-4241

1. 試験項目

フリーアクセスフロアの振動試験

2. 試験日

令和5年5月24日

3. 試験方法

JIS A 1450：2015の6.8に準拠

4. 試験体および試験条件他(添付図参照)

試験体：BFW5000

独立支柱タイプ

500mm×500mm×H200mm

a)タイルカーペット上端までの高さ：206.5mm

b)タイルカーペット

厚さ 6.5mm(東リ製 GA-100)，ピールアップボンド(東リ製エコGAセメント)で固定

c)アンダーレイ：なし

試験条件：

a)所定のおもりの質量：350kg

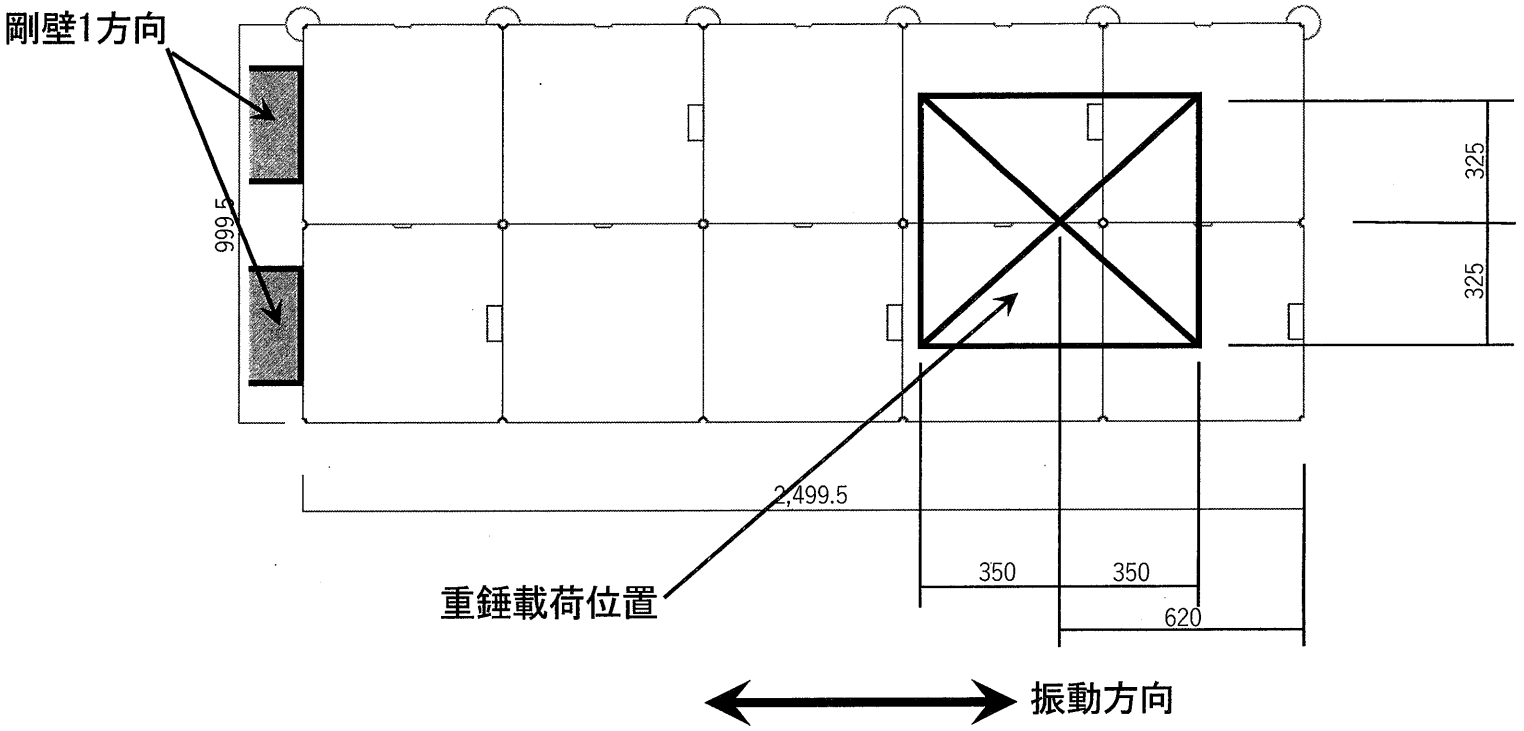
b)所定の加速度：1,000cm/s^2(1G)

c)剛壁：1方向

5. 測定項目

・加振後のパネルの脱落および試験体の損傷，隙間，水平移動，パネルのせり上がりなどを目視で観察し、ある場合はその状態を記録

・加振後のパネルのへこみの有無を目視で観察し、ある場合はへこみ量を直定規と隙間ゲージで測定



添付図　試験体の設置状況

振動試験結果

試験体：BFW5000

独立支柱タイプ

500mm×500mm×H200mm

a）所定のおもりの質量：350kg

b）所定の加速度：1,000cm/s^2(1G)

c）パネルの脱落及びせり上がり，試験体の損傷，隙間および水平移動(目視)の有無：なし

パネルのへこみの有無，へこみ量：なし

d）ユニットの高さ及びユニットとおもりの位置関係

ユニット高さ：200mm

ユニットとおもりの位置関係：添付図参照

e）表面仕上げ材名及び固定方法：6.5mm 厚タイルカーペット(東リ製 GA-100)，ピールアップボンド(東リ製エコ GA セメント)で固定

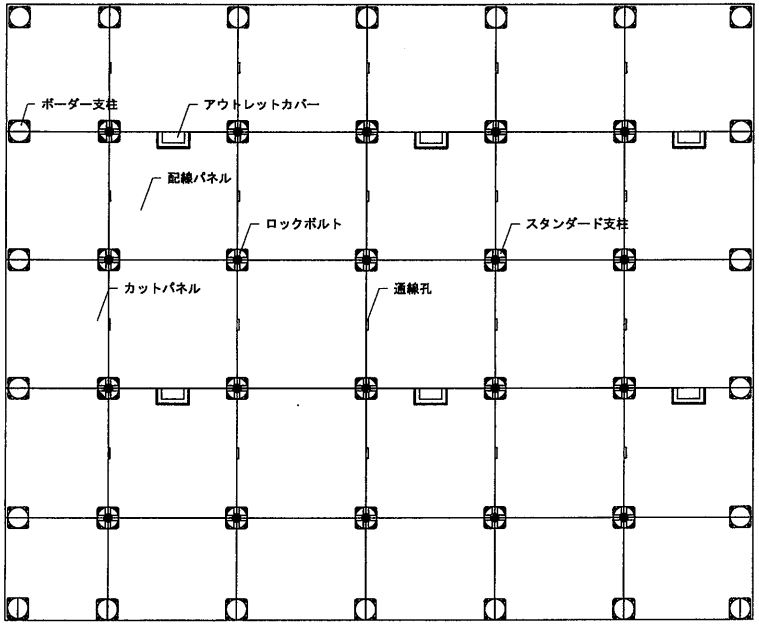
f）試験体の設置状況(周囲壁の設置の有無および位置)：剛壁

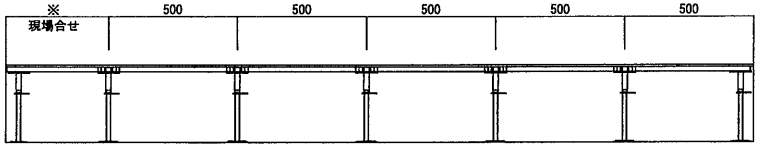
1 方向(添付図参照)

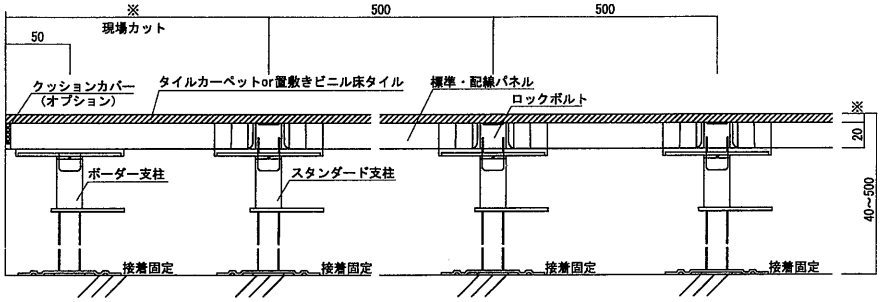
g) ゴム付き調整脚の材質，硬度：エチレンプロピレンゴム，
硬さ 90HS

h)その他所見：なし

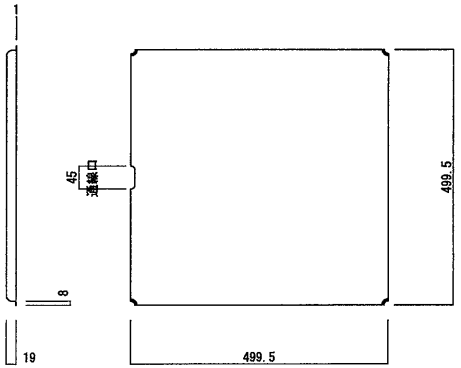
基準納まり図S=1/20



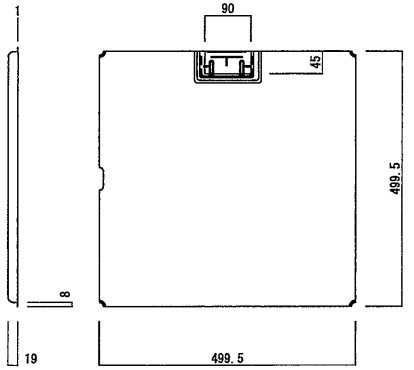




標準パネル(NC)

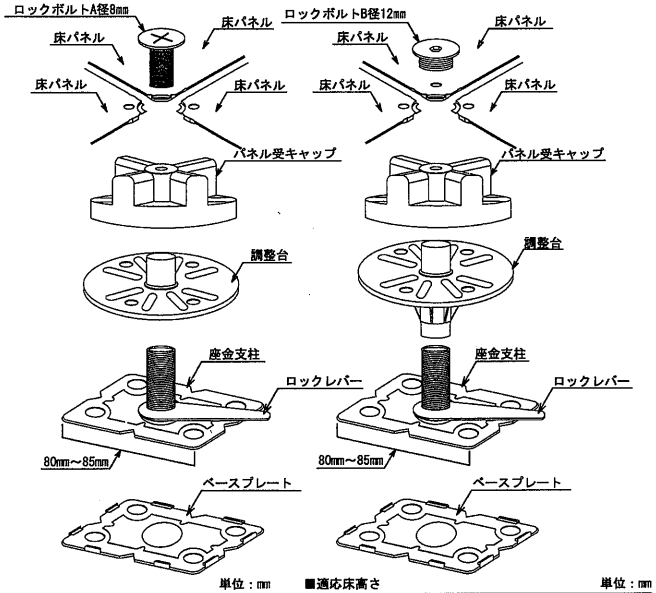


配線パネル(1C)



パネル型式	強度（中央集中Φ50）		パネル材質	標準床高さ	表面仕上材
	剛性				
BFW (1C・NC)			スチール +ウッドコア	40mm ↑ 500mm	タイルカーペット

スタンダード支柱　納まり図



■適応床高さ　単位：mm

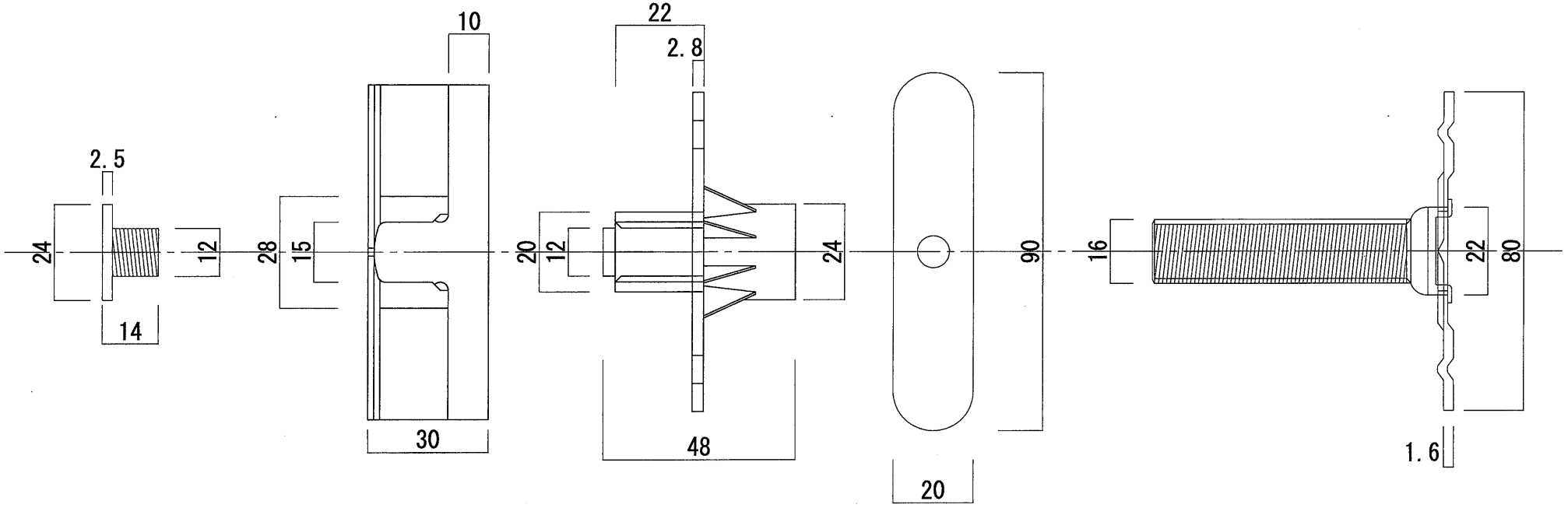
■適応床高さ	配線空間（h）
40~50	20~30

■適応床高さ　単位：mm

■適応床高さ	配線空間（h）
60~500	40~480

STEP LINE
ステップライン株式会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-10
青木ビル6階

工事名称：	縮尺：	作成日：	仕様：本体パネル サイズ:500x500xH19mm	重量:5kg/㎡
図面名称： パネル・断面納まり図	サイズ： A3	備考：	副資材：	オプション副資材：	仕上げ材： ビニルタイル(オプション) タイルカーペット(オプション)



STEP LINE
ステップライン株式会社
東京都港区虎ノ門4-1-10 青木ビル6F
TEL：03-5733-3927　FAX：03-5733-3928

プロジェクト名	縮 尺	図面NO.	担 当	作成日
pedastal	S=1/1			2023.07.22